

書叢究研語

30
852

HELPS

TO
THE STUDY OF ENGLISH

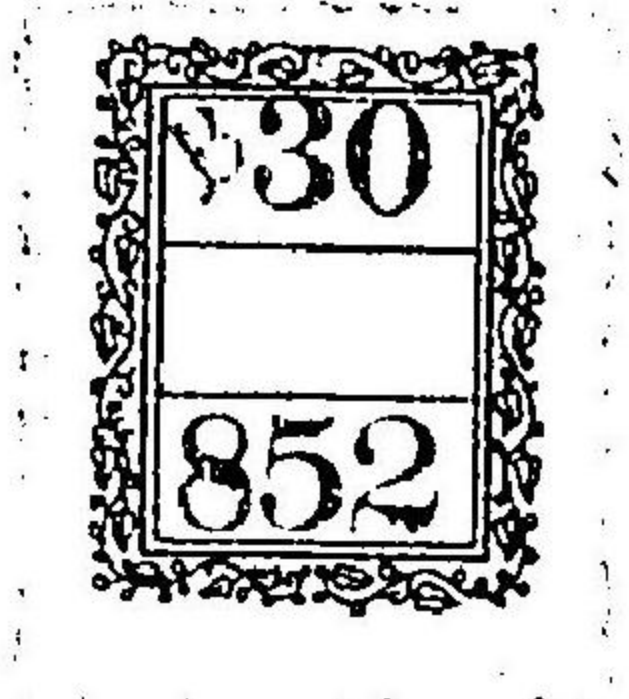
No. 1.

ETYMOLOGY.

文學士 高木尙介編纂

英語
法語
品詞論

東京 參文舍 發行



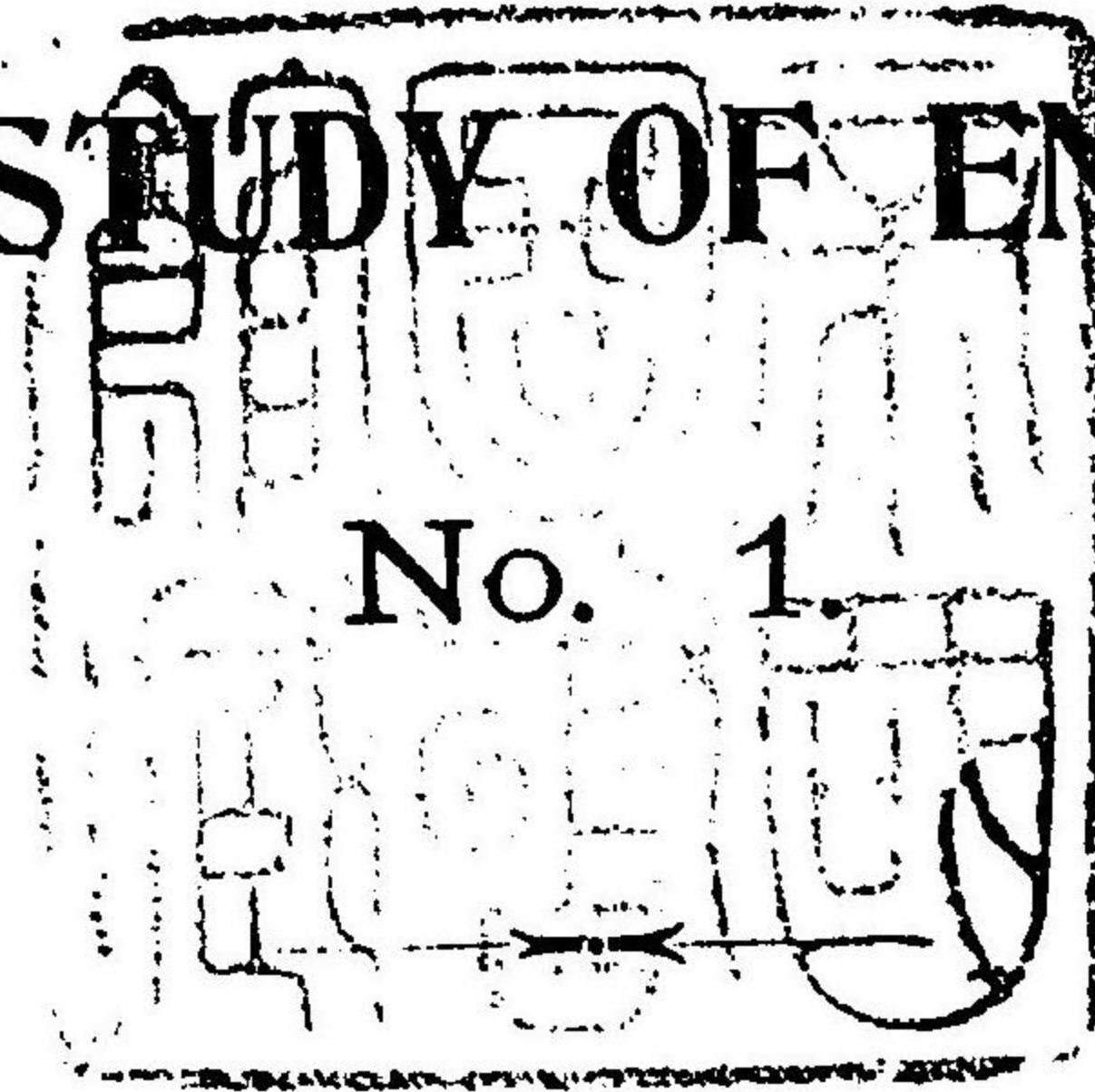
特47 :

297

HELPS

TO

THE STUDY OF ENGLISH



ETYMOLOGY.



Published by SANBUNSHA.

TOKYO:

1906.

緒 言

國民は自己を知ると共に他を知るを要す。語學、殊に最も普通に行はる、英語を研修するの必要なること、多言を須たざるべきなり。

現時、文運の隆なる、公私の學校の設備は完全し、到るところ、良教師あらざることなし。方今の學生は、よし初學者にても、語學を研修するにあたりて、聊の欠陥を感ずることなかるべきなり。然れども、語學に熟達せんことは、固より容易の業にあらず。初學者は、單に學校教育のみにては、到底到達し難かるべし。須らく、他に熟達する方法を求めて、學校教育の足らざるところを補はざるべからず。本叢書が、初學者のために、英語研修の資たらんことを任ずるの意、蓋し學校教育の足らざるを補はんとするの微意に外ならざるなり。

且つ、世間まゝ、篤學の士にして、ある事情のために、正則の語學教育を受くる能はざるもの尠からず。まことに聖代の一大恨なり。これ等の篤學の士が、英語を自習するの用に資せんこと、また本叢書の目的とするところなり。

本叢書の趣意と目的と、かくの如し。されば、本叢書は、簡約を経とし、懇到を緯とし、中等學生諸君の親切なる伴侶となり、町家子弟の最良なる教師たらんことを期す。

終に臨みて、本叢書は、英語文法の研究より始めて、逐次巻を重ねるに随ひて、英語を習熟するに必須なる項目を網羅せんとす。最近に上梓すべきもの、次の如し。

第壹卷、品詞論。第貳卷、文章論。第參卷、慣用語用法。第四卷、連結辭用法。第五卷、普通なる誤謬。

明治三十九年九月

編者識

CONTENTS.

	PAGE.
The Sentence and Parts of Speech.	1-16
The Noun.	17-39
The Substantive.	17
Classes of Nouns.	18
Inflection of Nouns.	25
Number.	25
Gender.	29
Case.	32
The Pronoun.	40-76
Classes of Pronouns.	40
Personal Pronouns.	40
Demonstrative Pronouns.	48
Definite Demonstratives.	49
Indefinite Demonstratives.	58
Distributive Demonstratives.	60
Interrogative Pronouns.	62
Relative Pronouns.	65
The Adjective.	77-110
Classes of Adjectives.	77
Pronominal Adjectives.	78
Adjectives of Quantity.	88
Adjectives of Quality.	97
Comparison.	99
Uses of Adjectives.	108
The Articles.	111-134
Classes of Articles.	111

	PAGE.
Uses of Articles.	115
The Definite Article.	115
The Indefinite Article.	126
Omission of the Article.	129
The Verb.	135-219
Classes of Verbs.	135
Principal Parts of Verbs.	142
Person and Number.	146
Voice.	147
Mood and Tense.	151
Indicative Mood and Its Tenses.	156
Subjunctive Mood and its Tenses.	176
The Subjunctive Form.	177
The Conditional Form.	182
Potential Mood and its Tenses.	187
Imperative Mood.	199
Verbals.	202
Infinitives.	203
Participles.	210
Gerunds.	216
The Adverb.	220-225
Kinds of Adverbs.	220
Degrees of Comparison in Adverbs.	224
The Preposition.	226
The Conjunction.	229
The Interjection.	233

ETYMOLOGY.



THE SENTENCE AND PARTS OF SPEECH.

1. 完全なる思想を言語にあらはしたるものを **Sentence** といふ。個々の語は一の觀念、言を換へていへば、一のかんがへを云ひあらはせども、完全なる思想をあらはすことなし。ある規定の下に、二箇以上の語の正しく排列せられたるもののみ、完全なる思想を云ひあらはし得べきなり。例へば、sun, shine, earth, is, round 等の語は、一のまとまりたる思想をあらはさざるが故に、Sentence にはあらざれども、

The sun shines.

The earth is round.

Mary, your lilies are in blossoms.

We found the tiger lying dead in the very place where it was shot.

これ等の語の連続は何れも皆 Sentence なり。

2. Sentence が完全なる思想を云ひあらはすには、

述せらるゝ事物を云ひあらはす語と、これに就きて何事かを敘述する語となかるべからず。

(a) Honesty is the best Policy.

(b) He gave me the book.

上の例題に於て、敘述せらるゝものは何ぞ。又それに就きて敘述を云ひあらはすものは何ぞ、(a) に於て、best policy なるものは何ぞ。book を me に與へたるは誰ぞ。Honesty は如何なるものぞ。he は如何なることをなせしか。

上の Sentence は、honesty は如何なるものなるか、he は如何なることをなせしかといふ思想を言語に云ひあらはしたるものなれば、これをこの Sentence の Subject といひ、honesty は best policy にして、he のなせしことは、gave me the book といふことなれば、これ等をこの Sentence の Predicate といふ。

苟も語の連続が一の Sentence たるには、長くとも短くとも、必ずこの Subject と Predicate とを備へざるべからず。

3. (a) He struck the boy.

(b) The man laughed at me.

上の例題にて、その Subject は、(a) にては he、(b) にては man なり。而して、それ等の活動が主として取り出でて云ひあらはされたるなり。若しこれを、

(c) The boy was struck by him.

(d) I was laughed at by the man.

とすれば、これ等の文は、語の排列が (a) (b) と異なるのみにして、思想の上に於ては、なほ同一の事實をいひ表はせるものなり。(c) にては、Subject は he にあらずして boy なり。(d) にては、その Subject は man にあらずして I なり。抑も、敘述せらるべき事物を先づ述べて、後にそれに就きて何事かを敘述するが、人の思想を發表する普通の様式なり。大抵の國語にて、文は Subject にて起り、Predicate これに續くは、畢竟自然の結果に外ならざるなり。この故に、he と man とは何れも文の首位にあり。boy と I と、これ等も文の首位にあるが故に、Subject なりとは必ずしも云ふべからざるも、(c)、(d) にては、動作に對する觀察の、(a)、(b) と異なる所あるに注意すべし。(a)、(b) は he と man との活動を主として云ひ、(c)、(d) にては boy、I を主として之を思想の中心として、それに就きて敘述せり。これ he と I とが、文の Subject となりて首位に置かるゝ所以なり、

4. 我々の思想には、常に敘述の主題たるものなかるべからず。是等の事物には皆その名あり。如何なる事物に就きて思想を述べんにも、若し名なくば不便少からざればなり。

My house is new.

The book is on the table.

と云はば、若干の名を用ひ居るにあらずや。名は實に言語の必要なるものなること推して知るべし。すべて名をあらはす語を文法にて Noun といふ。

5. I lent John the book, but **he** has returned **it**.

この文に於て、he, it は便宜上 Noun の代りに用ひられたる語なり。若しこれを、

I lent John the book, but John has returned the book.

と云はば、如何にも迂遠にして、且つ拙きを覺ゆ、かくて、Noun の代用語たるべき、便利にして短き語あり。是を **Pronoun** といふ。故に、Pronoun は Noun の代用語とも云ふべく、その主なる用法は、實に noun の重複を避くるにあり。

6. Noun に何等かの意義を附するために、種々の語を添加すること多し。これを Noun を **modify** すといひ、かくの如き語を、その **Adjunct** 又は **Modifier** といふ。かくして、簡單なる意義をあらはす語も、次第に複雑なる意義をあらはすものとなるなり。例へば、

A **great** king once stopped at a **little** village.

The **setting** sun and the **rising** moon are greeting each other.

Some birds sing sweetly.

の如し。その中に就きて、a, the を **Article** といひ、little, setting, rising の如き語を **Adjective** といふ。

7. 完全なる思想をあらはすには、Subject と Predicate となかるべからず。例へば、

The dog **runs**.

I **am writing** my exercise.

The sun **will rise** at six.

Men **sleep** to preserve life.

He **is** the best student in our class.

の如し。さて、前にある語は、その Subject にして、後にある語はその predicate なり。これ等の predicate は、皆それぞれに敘述の必須なる成分たるべき語を含めることに注意すべし。即ち、run, am writing, will rise, sleep, is は、皆直接に Subject たる事物の動作状態を説述するに用ひられたる語なり。かくの如き語を **Verb** といふ。その他の語は、皆 Verb の modifier なるか、若くは modifier の modifier なり。多くの場合に於て、Predicate は若干の Modifier を有するを普通なりとす。

8. Verb の云ひあらはす、Subject の動作が、直接に他の事物に何等かの影響を及すことあり。直接には何等の影響をも及さざることあり。

The sun shines.

Some birds sing sweetly.

に於ては、それのみにて完全なる思想をいひ表はせども、

The birds have built.

は完全なる思想をうつし出せりと云ふを得べきか。

I have found.

は如何に。これ等の Verb のあらはす動作は、直接に他

の事物と關係を有するが故に、聽くものは、必ず build せられたるものは何ぞ、find せられたるものは何物ぞといふことを示すにあらすば、會得する能はざるべし。

The birds have built their **nest**.

I have found the **book** which I lost yesterday.

など、その動作の影響を受くる事物をあらはす語を要すべし。かくの如き語を、その Verb の **Object** といふ。Object も Subject の如くに、modifier を有すること多し。

9. 時としては、Verb は二個の object を有することあり。例へば、

(a) I made **him** a kite.

(b) He wrote **me** a letter.

(c) I will lend **you** this book.

の如し。(a) に於ては、Kite は第一の Object にして、him は第二の object なり。(b) に於ては、letter は第一の object にして、me は第二の object なり。(c) に於ては、book は第一の object にして、you は第二の object なり。通常、第一の object は事物をあらはし、第二の object は人をあらはす。第一の object を **Direct object** といひ、第二の object を **Indirect object** と云ふ。

10. (a) The sun shines.

(b) Arithmetic is my favorite **study**.

二の文の相違に注意せよ。(a) に於ては、shines は sun

が如何にあるかを説述すれども、(b) に於ては、Arithmetic is のみにては、何事をも説述すること能はざるなり。聞く人は、必ずその如何なるものなるかを云ひあらはすにあらすば、合點せざるべし。されど、その思想を完全にするために用ひられたる study といふ Noun は、

(c) I lost the ball.

の ball の如く、Verb の object にはあらず。(c) に於ては、ball は subject の I と相異なる、他の事物をあらはせり。然るに、(b) に於ては、study はたゞ subject の別名をあらはせるまでなり。而して、is は完全なる思想をいひ表はさんがために、二の noun を結び合はすの用をなせるまでなり。

(d) Your voice is too **low**.

(e) This book is **heavy** and that book is **light**.

の文にてもまた然り。(b) にては、study は noun なれども、(d), (e) にては、low, heavy, light が adjective なるの相違あるのみなり。かくの如き語は、文の predicate のあらはす敘述を完全にする職能を有するが故に、之を **Complement** といふ。

(f) He has become **rich**.

(g) He has fallen **sick**.

の如き文にても、その關係は推して知るべし。

これ等の Complement は Subject の別名なるか、若くば

Subject に係屬してこれを modify するが故に、Subjective Complement といふ。

11. (a) You must show yourself a gentleman.

(b) I made him my servant.

(c) I found the book interesting.

此等の文に於ては、(a) の gentleman, (b) の servant, (c) の interesting は、それぞれに、文の predicate を完全にするために用ひられたる Complement なり。若し、

You must show yourself.

とのみいはば如何に。それにては、思想は完全に且つ明晰に云ひあらはされざるにあらずや。例へば、A gentleman といふ語を補はずば、その思想は完備せざるべきなり。(b), (c) もこれに準じて知るべし、而して、(a) の gentleman は yourself の別名を、(b) の servant は him の別名をあらはす noun にして、(c) の interesting は book に係屬する adjective なり。これらの Complement は、object の別名なるか、若くば object に係屬してこれを説明する modifier なるが故に、これを Objective Complement といふ。

12. Noun が adjective によりて modify せらるゝが如く、Verb も、種々の意義を附せんがために、他の語によりて、即ち、adjunct 又は modifier によりて、添加せらるゝこと多し。例へば、

(a) The clock stopped suddenly.

(b) He worked hard and soon became rich.

(c) Love me little, love me long.

(d) The teacher will be here presently.

の如し。これ等の語は、何れも皆 Verb に係屬して、「如何やうに」、「何時」、「何處にて」等の意義をあらはすものなり。かくの如き、Verb の adjunct なる語を Adverb といふ。これ等の adverb は、常に Verb にのみ係屬するものにはあらざれども、その重なる用方は、實に Verb の adjunct となることこれなり、

13. Sentence は二個以上の語の正しく連続したるものにして、完全なる思想をあらはしたるものなり、而して、たゞ一個の predicate を有する Sentence を Simple Sentence といふ。

(a) { The sun shines.
He did not get much help from others.

(b) { Who told it?
Don't you know anything about it?

(c) { Be more careful!
Don't rely much on the help of others.

(d) Long live the Emperor!

(e) Oh! How nice it is!

これ等は皆 Simple sentence なり。たゞ一の predicate を有する文なればなり、
 而して、(a) なる文は、肯定と否定との區別はあれど、要するに、何れもたい事實を敘述するのみなり。(b) なるも、肯定と否定とあれど、共に疑問の意を云ひあらはし、(c) なるは命令と禁止とをあらはし、(d) なるは願望の意をあらはし、(e) なるは感嘆の意を云ひあらはせり。かくの如き Simple sentence は、その用によりて、それぞれに、これを **Assertive Sentence, Interrogative Sentence, Imperative Sentence, Optative Sentence, Exclamatory Sentence** といふ。

〔注意〕 Simple sentence の必要なる約束は、文がたゞ一個の Predicate を有すべきことこれなり、これを組み立つる語の数の多少は、Simple sentence に何等の關係もなく、又 adjunct の有無も關係する所なし。されば、僅に二個の語より成る、

Birds fly.

も Simple sentence にして、數十語より成る、

In the year 1564, during the reign of Queen Elizabeth Shakespear, an English dramatist, was born at Stratford-an-Avon.

も、また Simple sentence たるべきなり。

14. 二個以上の語の連続なれど、なほまとまりたる思想をあらはすことなく、文の一部となりて、一個の語と全く同一の職能をなすのみなるものあり。例へば、

Between us.

**Through the streets.
 Around the house.**

の如し。これ等は、何れも皆それのみにては、完全なる思想を云ひ表はすことなし。Subject もなく、predicate もなければなり。若しこれ等を文の一成分として、

- (a) There was no rivalry **between us.**
- (b) They rushed **through the streets.**
- (c) The wind is blowing **around the house.**

の如きものとなさば、始めて、完全なる思想をあらはす Sentence たるべき資格を有すべきなり。かくの如き語の連続を **phrase** といふ。而して **between, through, around** の如く、noun, pronoun と相連りて、phrase を形成する語を **preposition** と云ふ。us, house, streets の如く、preposition と連りて、phrase を形成する noun, pronoun を、preposition の **object** に用ひられたりと稱す。

- 15. (a) A man **with such a quick temper** is often seen **in these days.**
- (b) The invention **of gunpowder** destroyed feudalism.
- (c) The book lies **on the table.**

例題 (a) なる "With such a quick temper" といふ phrase は、Subject の man の modifier として、これを

modify すること恰も adjective の如く、“in these days” は、“is seen” に係属することまた adverb の如く、(b) にても、“of gunpowder” は adjective と同一の職能をなし、(c) なる “on the table” も adverb の用ををせり。かくの如く、phrase は、常に Sentence の一成分として、adjective 若くば adverb の用をなすものなり。adjective の用をなすものを **Adjective phrase** といひ、adverb の用をなすものを **Adverbial Phrase** といふ。

[注意第一] Phrase には、なほ noun の用をなすものあり。これを **Noun phrase** といふ。例へば、

He promised to do his best.
To know onething thoroughly is better
than Knowing many things by halves.
You will repent of having been idle.

の如し。

[注意第二] Phase の中には、なほ preposition の用をなす、**Prepositional phrase** といふものあり。Conjunction の用をなす **Conjunctive phrase** といふものあり、次の如し。

(a) Prepositional phase.
He worked hard for the sake of a prize.
In respect of; by means of;
With reference to.

(b) Conjunctive phrase.

He studies hard **in order that** he may pass the examination.

The travellers fell asleep **as soon as** they arrived.

17. Sentence が、意義に於ても形態に於ても、獨立して用ひられずして、他の主要なる部分に係属して、大なる Sentence の一部分となることあり。

(a) **As we master the meaning of words,** we make intellectual progress.

(b) **That the earth is round** no longer admits of question.

(c) A man **who is learned** is generally respected.

これ等の部分は、若し獨立すれば完全なる思想をあらはし得べきも、皆主要なる部分に係属して、意義に於ても形態に於ても、獨立せざるものとなれるなり。かくの如き Sentence を **clause** といふ。通常主要なる部分となれる Sentence を **Principal clause** といひ、これに係属する clause を **subordinate clause** といふ。

Subordinate clause と principal clause とを、聯結する用をなせる **as, that, who** の如き語を **Connective** といふ。

一個の principal clause と、一個若くは二個以上の subordinate clause とより、形成する Sentence を **Complex**

sentence といふ。故に、例題 (a), (b), (c) は、皆 Complex sentence なり。

Clause にも、(b) の如く Noun の用をなすものあり。(a) の如く adverb の用をなすものあり。(c) の如く adjective の用をなすものあり。これ等を、それぞれに、Noun clause, Adverbial clause, Adjective clause といふ。

17. (a) The sun rose with power and frog dispersed.
 (b) A great deal of rain must have fallen, for the river is high.
 (c) I was invited to the party, but I was not able to go.

上の例題 (a), (b), (c) は、何れも皆二の獨立せる Sentence より成り、and, for, but といふ Connective によりて連結せらる。かくの如く、二個(若くは二個以上)の獨立せる Sentence より形成するものを Compound sentence といふ。

18. (a) The boy and his brother are playing on the beach.
 (b) He is sad but hopeful.
 (c) The rain fell before we reached home.
 (d) The bird saw the little pool, and came there to drink.

例題 (a) なる and は二個の noun を連続し、(b) なる

but は二個の adjective を連続し、(c) なる before は二の clause を、(d) なる and も二の clause を連続するの用をなせり。かくの如く、二の語若くば文を接續する語を Conjunction といふ。

19. これまで述べたる noun, pronoun, adjective, article, verb, adverb, preposition, conjunction は、皆 Sentence を構成するに、必須なる語の種類なり。なほこの外に、必ずしも Sentence に缺ぐべからざるものにはあらざれども、Interjection と云はるゝ語の種類あり。Oh, Alas の如く、喜怒哀樂の感情をあらはす語にして、云はば、人が感動を身振り音聲にうつし出すと同じく、感情的に發せられたる語なり。

20. 以上九種の語を parts of speech といふ。幾多の語は、何れも皆これ等の中の何れかに屬するものなり。

21. 完全なる思想は、これ等の九種の語が、ある規定に従ひて、連続したる Sentence によりてのみいひ表はさるゝものなり。されど、稀には、一個の語よく完全なる思想を云ひあらはし得ることなきにあらず。例へば、yes, no, oh, alas の如き語は、單獨に用ひられて一個の Sentence と同一の資格を有するなり、一般に云はば、完全なる思想は、Sentence によりてのみ云ひあらはさるゝものといふべし。これ九種の語が parts of speech と呼ばるゝ所以なり。

22. 語は Sentence に於て用ひらるゝ意義職能等の異なるに従ひて、自ら差別を生ず。その差別によりて分類したる語の種類を、parts of speech といふなり。

かく、parts of speech は、文の中に於ける意義職能に基づく分類なるが故に、同一の語は、常に同一の part of speech たるべき理由なし。語はその意義職能の轉するに従ひて、一の part of speech より、他の part of speech に轉すべければなり。

(a) **As** :—

Pronoun :—He is not such a fool **as** he looks.

Conjunction :—The air is now cold, **as** the rain has fallen.

(b) **One** :—

Adjective :—There is but **one** shilling left.

Pronoun :—**One** is apt to waste one's time.

(c) **Round** :—

Adjective :—A square thing does not fit into a **round** hole.

Preposition :—Draw a circle **round** a given centre.

Adverb :—The flies are flying **round** and **round**.

Verb :—Gama was the first man **to round** the Cape of Good Hope.

PARTS OF SPEECH.

第 貳 章

THE NOUN.

第 壹 節

THE SUBSTANTIVE.

23. (a) **John** hit the **ball**.
 (b) I will not go until my **father** comes.
 (c) **He** started when I spoke to **him**.

上の例題に於て、John, I, father, he は、それぞれに subject に用ひられ、ball, him は object に用ひらる。かく文の中に於て、subject 若くば object に用ひらる、語を Substantive といふ。

而して、John, ball, father は何れも皆事物の名をあらはす語、即ち noun なり。I, he (him) は noun の代用語、即ち pronoun なり。

Substantive の中には、noun と Pronoun との二の part of speech ありと知るべし。

第 貳 節

CLASSES OF NOUNS.

24. 通常 noun を分ちて五種とす。

- (1) Proper Noun.
- (2) Common Noun.
- (3) Collective Noun.
- (4) Material Noun.
- (5) Abstract Noun.

25. Proper Noun. 同じ種類の他の事物と區別するために附したる特殊の名なり。例へば、Tokyo (場所の名), Caesar (人の名), Fuji (山の名), Sunday (日の名), January, (月の名), Kigensetsu (祭日の名) の如きは、皆 Proper noun なり。これ等の noun は、何れも皆特殊なる一人一事一物に附したる名なればなり。この故に proper noun は、常に二個以上の個體に共通して用ひらるることなし。

[注意] Proper noun は、常にその首字を Capital letter にて書すべし。

26. Common Noun. 同じ種類の何れの個體にも共通して用ふべき名にして、他の種類の事物と區別するために附したる名なり。例へば、City, man, mountain の如きは、皆 Common noun なり。

27. Tokyo は、特殊の場所にのみ用ふる名なり。City

は、若干の個體に共通すべき名なり。Tokyo, London, Paris, New York その外世界の都會たる資格ある場所は、何れの個體にても、皆 city といふ名を附し得べし。故に、proper noun は個體の名にして、Common noun は種類の名なり。

Fuji は、他のあらゆる山より區別するために附したる、特殊の山の名なり。云はば、特殊の個體の符號に過ぎず。されば、Proper noun は、常に何等の意義をも有することなし。之に反して、Common noun は常にある意義を有す。Mountain は Common noun なり。Mountain といはば、その如何なる種類のものなるかを吾人に示めすにあらすや。さば云へど、proper noun の中にも、その本源に遡りて考ふれば、必ずしも無意義のものにあらざりしものあり。ただ久しき年月の間に、本来の意義は忘却せられて、單に區別の符號となりしもの多し。

Proper noun は特殊の個體の名なれば、二個以上の個體をあらはすべき形態を要せざれども、Common noun は同じ種類の何れの個體にも共通する名なれば、二個以上の個體をあらはすべき形態を要すべき理なり。

28. Collective Noun. 單なる一物體として見做されたる、一様なる個體の集合體の名なり。例へば、fleet, nation, army, senate の如し。fleet は若干の船艦の集合體に附したる名なり。fleet は幾多の艦船より成立すれども、これ等の船艦は、同一の司令官の指揮の下にありて、同一の目的に向ひて、共同の勤務に服すべきなり。これ等の若干の個體の集合體を、單一なる一團と見做して、

これに名付けたるが fleet なり。nation, army, senate も幾千幾百幾十の個體を含むべきも、これ等の個體の集合體に附したる名なり。故に、Collective noun もまた意義を有する名なりといふべし。

Fleet は幾多もあるべく、nation, army も皆然らざるはなし。故に、Collective noun もまた、同じ種類の集合體に共通する名と云ふべく、Common noun の一種なりとも云はるべし。

29. 若し Collective Noun が、その集合體を形成せる衆多の個體の、個々別々に活動する意義をあらはすものと見做さるゝときは、これを **Noun of Multitude** といふ。今これを Collective noun と比較して考ふるに、Collective noun は、衆合體を unit として云ひあらはすものなり。noun of multitude は、衆合體を units としてうつし出すものなり。次の例を見よ。

(a) The **army** was ordered to the scene of action.

(b) The **army** (=men composing the army) were washing their faces.

この意義の相違に基づきて、Predicate としての verb の形態が、(a) にては was, (b) にては were なることに注意すべし。

30. **Material Noun.** 物體を形成する實質に附したる名なり。例へば、gold, glass, wine, water, stone, sugar の如し。gold は、世界上に存在する、あらゆる gold と

いふ物質の一團に附したる名なり。wine, glass, water 等も皆然り。されば、この點につきていへば、material noun は、Collective noun と類似せるものと云ふべし。gold は、あらゆる gold といふ物質の一團に附したる名なり。同じ物質の一團、また他に存在すべき理あらざれば、material noun も、二個以上といふ意味をあらはすべき形態を有せざる理なり。これ Collective noun と異なる所なり。

Material noun は、物質の名にして形體に附したる名にあらず。glass にて製したる bottle は、若し一たび破壊すれば、またこれに bottle と云ふ名を附する能はざれど、glass といふ物質は、如何ばかり極微にこれを粹碎すとも、その一片は飽くまでも glass なり。蓋し bottle は一定の形體を有するものに附したる Common noun にして、glass は物質に附したる Material noun なければなり。

31. **Abstract Noun.** 事物の性質状態又は動作に名づくる Noun なり。例へば、whiteness, truth, bravery, walking の如し。ある性質状態若くは動作を有する事物より、その性質状態動作を分離して、これに附したる名が Abstract Noun なり。White paper, white snow, white walls 等に共通する、white にてありといふ状態を、これ等の事物より離れて抽象的に考へ、これに名づけたるが whiteness なり。truth は、true assertions に共通なる性質に、bravery は brave men, brave actions に共通なる性質に附したる名なり。Abstract Noun は、一致せる事

物をあらはす名にあらずして、事實の一致をあらはせる名なり。されば、一つ二つと數ふべきものにあらざることを明なるべし。

〔注意〕 Abstract noun には、Adjective より出づるものと、Verb より出づるものとあり。而して、これ等の noun は、概して adjective, verb の語尾を變じて作るものなり。

Happiness.	(adj. "happy" より)
Purity.	(adj. "pure" より)
Bravery	(adj. "brave" より)
Wisdom.	(adj. "wise" より)
Intention.	(v. "intend" より)
Speech.	(v. "speak" より)
Belief.	(v. "believe" より)
Punishment.	(v. "punish" より)

32. 五種の noun の中にて、ただ abstract noun のみは、無形の事物をあらはす名なり。他の四種の noun は、皆有形の事物の名なるが故に、これを abstract noun に對して、Concrete noun ともいふ。

今、noun の種類を表記すれば、次の如くなるべし。

Noun	
(1) Concrete noun.	(2) Abstract noun.
(a) Common noun	(b) Proper noun.
(1) Class noun.	(2) Material noun.
(a) Individual noun.	(b) Collective noun.
(1) Collective noun.	(2) Noun of multitude.

33. Noun の分類は、三の方面より生じたる慣習なりといふべく、絶対に必要なるものにはあらず。三の方面とは、

- (1) The plural number.
- (2) The use of Articles.
- (3) The plural concord.

これなり。Proper noun には、plural number の形態なく、“a” を附することなく、これに反して Common noun には、plural number の形態あり、従つて、singular number の Common noun には、“a” を附せざるべからざるが如し。

34. Noun の分類は、絶対的のものにあらず。その用方の如何によりて生じたる分類なり。例へば、Edison は本來 Proper noun なれども、

I wish to become an Edison.

I hope there may be many future Edisons among these young students.

などいはば、Edison の如き發明家と云ふ意義となりて、ここにては、Common noun となるが如し。

35. Material noun も、Common noun となることあり。

その場合三つあり。

(1) 物質にて製造せる事物をあらはすべく用ひられたる場合。

It is reported sō in to-day's **paper**.
Will you have a **glass** of wine?

(2) 物質の部分をあらはす場合。

He threw a **stone** at me.
We saw **lights** in the distance.

(3) 物質の種類をあらはす場合。

This is a good **wine** for an invalid.
These **cloths** are made in this country.

かくの如き場合には、Material noun は、Common noun となるなり。

36. Abstract Noun も、次の意義に用ふるときは、Common Noun となるなり。

(1) 性質動作の種類。

The book contains many important **truths**.
Moral courage is a rare **virtue**.

(2) 行爲若くは製作物。

He has done me a **kindness**.
I have to write three **compositions** to-day.

(3) 性質を有する事物。

She was a **beauty** in her youth.
Japan has many historical **characters**.

第 参 節

INFLECTION OF NOUNS—NUMBER.

37. Noun は、文の中に於ての用方意義を指示するために、その形態を變化す。これを noun の inflection といふ。その變化に三種あり。

(1) Number.

(2) Gender.

(3) Case.

38. 一般に、Noun には、事物の一つなるか、二つ以上なるかを指示する二の形態あり。例へば、book, boy は一物一人を指示し、books, boys は、二つ以上の物又は人を指示するが如し。

かく、數によりて、Noun が、その形態を變化する文法上の形式を number と云ふ。

Noun の指示する所の事物一つなるときは、これを Singular number の Noun といひ、二つ以上なるときは、これを plural number の noun といふ。

39. Singular number の形態は、常に noun の本來の形態なり。

Plural number の形態を構成する法は、次の如し。

大抵の noun は、その Singular form に "s" を添へて、これを作る。若し、noun の語尾が "s," "x," "sh," "o," "ch" にて終はるときは "es" を添ふ。

Singular.	Plural.	Singular.	Plural.
Book.	Books.	Tree.	Trees.
House.	Houses.	Pen.	Pens.
Glass.	Glasses.	Lass.	Lasses.
Box.	Boxes.	Tax.	Taxes.
Dish.	Dishes.	Ash.	Ashes.
Hero.	Heroes.	Volcano.	Volcanoes.
	(但し	Bamboos,	Cameos.)
Watch.	Watches.	Branch.	Branches.
	(但し	Monarchs.)	

語尾 “f,” “fe” なる noun は、“f,” “fe” を “ves” に代へて、Plural form を作る。

Singular.	Plural.	Singular.	Plural.
Wolf.	wolves.	thief.	Thieves.
Knife.	Knives.	Life.	Lives.

語尾 “y” にて終はり、その前に Vowel あるものには、“s” を添ふれども、若しその前に consonant あるときは、“Y” を “ies” に代へて、plural form を作る。

Singular.	Plural.	Singular.	Plural.
Story.	Stories.	Duty.	Duties.
Lady.	Ladies.	Army.	Armies.

ある Noun は、Anglo-Saxon 語時代の語尾 “en” を添へて、plural form を作るものあり。

Singular.	Plural.	Singular.	Plural.
Child.	Children.	Ox.	Oxen.
Brother.	Brethren.		

ある Noun は、形態を變じて、plural form を作るものあり。

Singular.	Plural.	Singular.	Plural.
Man.	Men.	Foot.	Feet.
Goose.	Geese.	Mouse.	Mice.

外國語より轉來したる noun は、foreign inflection を存するものあり。English plural に従ふものあり。

Erratum. (Latin)	Errata.
Genius. (Latin)	{ Genii. Geniuses.
Memorandum. (Latin)	{ Memoranda. Memorandums.
Basis. (Greek)	Bases.
Hypothesis (Greek)	Hypotheses.
Cherub (Hebrew)	{ Cherubim. Cherubs.
Madam (French)	Mesdames

Singular, plural とも形態に變化なきものあり、Sheep, deer, fish, Heathen 等の如し。

ある Noun は、plural form なるのみのものあり。
Scissors, tongs, drawers, trousers の如し。

或は、形態は Plural なれども、意義は Singular なるものあり。News, politics, physics の如し。

或は、形態は Singular なれど、意義は plural なるものあり。People, Cattle の如し。

或は、全く別義をあらはす二様の Plural form を有するものあり。

Singular.	Plural.
Brother.	{ Brothers (兄弟) Brethren (同宗信徒)
Staff.	{ Staffs (参謀) Staves (杖)
Cloth.	{ Cloths (布の種類) Clothes (衣服)
Index.	{ Indexes (目録) Indices (代数にて用ふる記號)

〔注意〕 概して、Number の變化は、實際につきて習熟するの外なし。疑はしきことあらば、字書によりて、正しきものを採り得べし。

第四節

GENDER.

40. Noun の第二の變化を Gender といふ、gender とは、事物の性をあらはす文法上の形式なり。

Gender に四種あり。

(1) **Masculine Gender.** Noun の指示する事物が、男性なるときは、これを Masculine gender の noun といふ。King, father, man, cock の如し。

(2) **Feminine Gender.** Noun の指示する事物が女性なるときは、これを Feminine gender の noun と云ふ。Queen, mother, woman, hen の如し。

(3) **Common Gender.** 男女の性何れにも共通する Noun の gender なり。Parent, child, cousin, sovereign の如し。

(4) **Neuter Gender.** 男女の性の區別なき事物をあらはす noun の gender なり。Tree, house, book, Mountain の如し。

〔注意〕 Material, Abstract Noun は、生命なき事物の名なるが故に、皆 Neuter gender なり。Collective noun もまた neuter Gender ならざるべからず。これを組織する個體は生物なることもあれど、之れ等の集合體は、固より生命を有するものにあらざればなり。

41. Masculine Gender と feminine gender とを、區別する方法三あり。次の如し。

(1) 語尾の變化によるもの。

ある Noun は、Masculine gender の形態に Roman Suffix "ess" を添へて、feminine gender を作る。

Masculine.	Feminine.	Masculine.	Feminine.
Author.	Authoress.	Count.	Countess.
Heir.	Heiress.	Host.	Hostess.
Lion.	Lioness.	Poet.	Poetess.

〔注意第一〕 語尾 "or," "er" にて終る Masculine noun は、Vowel を失ふことあり。二つながらこれを失ふことあり。

Masculine:	Feminine.
Actor.	Actress.
Governor.	Governess.
Negro.	Negress.
Marquis.	Marchioness.
Emperor.	Empress.
Hunter.	Huntress.
Master.	Mistress.

〔注意第二〕 Masculine noun の Bridegroom, widower, は、feminine noun の bride, widow が本来の形態なり。

(2) 性を區別する語を、Common gender の noun の前後に附するもの。

Masculine.	Feminine.
Male-cousin.	Female-cousin.
Boy-student.	Girl-student.

Masculine.	Feminine.
Man-servant.	Maid-servant.
Orphan-boy.	Orphan-girl.
He-goat.	She-goat.
Cock-sparrow.	Hen-sparrow.
Pea-cock.	Pea-hen.
Grand-father.	Grand-mother.

(3) 異なる語を用ふるもの。

Masculine.	Feminine.	Masculine.	Feminine.
Boy.	Girl.	Man.	Woman.
Father.	Mother.	Son.	Daughter.
Uncle.	Aunt.	King.	Queen.
Cock.	Hen.	Ox.	Cow.

42. 取り出でて、性をうつし出づるの要なきときは、人にも neuter noun に用ふることあり。

The other twin fell with **its** face in a furze-bush

又、輕侮の意をあらはすときにも同じ。

What a silly fellow **it** is!

43. 動物の名は、一般に Neuter gender なり。されど、高等の動物には、本来の性に關係なく、文法上の性を附すること多し、例へば、dog, horse, fish, Canary は、一般に Masculine noun にして、Cat, hare, parrot は feminine noun なり。物の名にても、擬人せらるれば、

gender を有するなり。Ship, boat, balloon, steam-engine
その他機械の名は。多くは feminine noun なり。

〔注意〕 擬人とは、活力なき事物を、恰も人間なるが
如くに使用するとき、その事物が擬人せらるるといふ。こ
の場合には、proper noun として取り扱はるゝものとす。

44. 一般に性を有せざる noun にても、Strength, fier-
ceness, terror の如き觀念をあらはすものは、Masculine
noun に、gentleness, delicacy, beauty, fertility の如き觀
念をあらはすものは、feminine noun に取り扱はるるなり。
例へば、Sun, Summer, time, death, rage, war 等は
masculine noun にして、moon, spring, dawn, peace, earth
等は feminine noun なり。

45. 大抵の國名は feminine noun なり。例へば、Asia,
Britain, France, Germany の如きは、皆 feminine noun
なり。Abstract noun も、多くは feminine noun なり。例
へば、truth, justice, silence は feminine noun なり。

第五節

CASE.

46. 今一の inflection は Case なり。文の中にての
noun の用方、言ひ換ふれば、noun が文の中の他の語に
對する關係をあらはす文法上の形式を Case とは云ふな
り。Case に三あり。

- (1) The Nominative Case.
- (2) The Possessive Case.
- (3) The Objective Case.

47. Nominative Case. Verb の Subject 若くば in-
complete verb の subjective complement に用ひられたる
noun の Case を Nominative Case といふ。

The general praised his bravery.

Mr. A is the first boy in our class.

Columbus was confident of being near land.

The dog was struck by him.

これ本性的の nominative なり。なほ、noun には、此外
に、Nominative of Address と普通に稱ふる Case あり。

John, close the door.

Boy! where is your book?

の John, boy の用方これなり。John は、單に對手の注
意を促さんために、呼掛けに用ひられたるなり。Case と
は、他の語に對する關係をいふと云ひたれど、この場合
には、Noun の用方は獨立的なりといふべく、文の中の
他の語とは、文法上何等の關係もなし。これ、これを
nominative of address と稱する所以なり。

48. Possessive Case. Adjective の如くに、他の
noun に係屬して、主として所有の義をあらはす noun
の Case なり。

The boy's book was lost.

The mother's love for her child.

この Case を形成するには、一般に、語尾に “'s” (apostrophe s) を附加す。father's, man's, men's, Children's の如し。

49. “'s” の省かるる場合二あり。

(1) 已に s にて終れる plural noun には、單に apostrophe のみを附す。

Horses' tail; the birds' nests; the dogs' kennels; the students' room.

(2) Singular noun の最後の Syllable が “s,” にて終始するか、若くば “s,” “ce” にて終り、且つ “sake” に伴ふ場合。

Moses' laws; for Jesus' sake; for goodness' sake; for conscience' sake; for appearance' sake.

されど。

Venus's beauty; James's hat; Chambers's reader; a mouse's skin.

の如きは、省略せずと心得べし。

50. 曾ては、Possessive Case は、あらゆる noun に用ひたりしことあれども、今日の英語にては、その用方は、人若くは動物をあらはす noun に制限せらる。

A man's foot. The boy's book.

A bird's feather. The horses' tails.

その他の noun は、preposition “of” と連りて、形成する prepositional phrase を代用せざるべからず。

The flower of Summer.
The door of the cottage.

故に、

The cottage's door.
The town's street.
The mountain's foot.

等は皆誤謬なり。

51. 人間動物以外の事物をあらはす noun にても、なほ possessive case に用ふることあり。

(1) 擬人せられたる事物をあらはす noun.

Fortune's favourite; Sorrow's tears; England's heroes.

(2) 時をあらはす noun.

A day's journey; A minute's notice; one week's pay; To-day's paper; Seven year's War; a winter's tale.

(3) 重量をあらはす Noun.

A pound's weight; a ton's weight.

(4) 空間をあらはす Noun.

A spear's length; a hair's breadth;
A stone's throw; at his journey's end.

(5) ある威力ある事物の名。

The sun's rays ; nature's works ; the ocean's roar ; the river's bank ; duty's call ; music's voice ; an empire's dust.

52. Object を要する verb より轉來したる noun に係屬する possessive case は、一般に發動的關係をあらはす。例へば、a mother's love, a father's care と云へば、love と care のあらはす動作は、mother と father とより由來せしことを表示するが如し。これに反して、被動的關係は、通常 possessive phrase によりて云ひあらはすものとす。例へば、The love of God, the description of my grandfather の如し。されば、多くの場合に於て、possessive case と possessive phrase とは並び用ふれども、文意の曖昧を避けんために、殊更に possessive phrase を用ふべきことあり。殊に、plural noun の possessive case は、その形態と普通の plural との區別不明なれば、the horses' tails と云はんよりも、the tails of horses と云はん方一層明晰なるべし。

53. "House," "shop," "store" の如き語は、possessive noun の次には常に省略せらる。

I saw him at my **uncle's** (*house*).

I bought it at **Maruya's** (*store*).

I am going to dine at **Brooker's** (*Club*).

I met him at the **barber's** (*shop*).

54. Possessive noun によりて先立たれたる noun は、決して a, the, this, that, some の如き語によりて係屬せ

らるるを得ず。されば、"John's a brother" 又は "a John's brother" とはいふこと能はざるが故に、"a brother of John's" と云はざるべからず。"My poor sister's this fortune" とは云はざるも、"this fortune of my poor sister's" と云はざるべからず。

That house of his uncle's is very fine.
Some friends of my younger brother's are staying with us.

この規則は、"a friend of mine" の如く、pronoun にも適用せらるゝものなり。

55. 合成語の Possessive form は、最後の語のみを possessive form に變化す。

My father-in-law's house.

Peter the Great's mother.

56. **Objective Case.** Verb 又は preposition の object に用ひられたる noun 若くば objective complement に用ひられたる noun の case なり。而して、一般に direct object を **Accusative case**, indirect object を **Dative Case** といふ。

I have written my **exercise**.

He teaches the **boy English**.

I wrote my **father a letter**.

He named his **dog Yoshiro**.

They elected him **president**.

57. Noun は、これ等の本性的用法に加ふるに、Adverbial relation に用ひられて、方向、距離、時、價格などをいひ表はすことあり。かく用ひたる noun を **Objective Adverbial** といふ。Objective adverbial に用ひたる noun の case も objective case なり。

They went the same **way**.

He would be satisfied one **way** or another.

He worked ten **miles** to-day.

The house is forty **feet** long and fifty **feet** broad.

He is twenty one **years** old.

He walked an **hour**.

A second-class ticket is three **yen** cheaper than a first-class one.

He was worthy a better **fate**.

58. (a) *Philip, King of Macedon*, was father of Alexander the Great.

(b) *Sister Marry* is expected to-night.

上の例題に於ては、King of Macedon, Sister は、これを取り去るとも、その思想を害ふことなし。これ等は、他の noun 即ち Philip, Marry に係属し、且つ、その指示する所のもの、これと同一なり。かく adjective の如くに、用ひられたる noun を **Appositive noun** といひ、noun のかく用ひらるることを **Apposition** といふ。

59. Appositive noun は、常に主なる noun とその case を同くす。言ひ換ふれば、Nominative なることあり、possessive なることあり、objective なることあり。

(a) Nominative Case:—

John, the carpenter, has succeeded well in business.

Queen Elizabeth was daughter of King Henry.

(b) Possessive Case:—

Have you read *Hakuseki* the **historian's** work?

My **friend** *Mr. Yoshino's* house.

[注意] Hakuseki に apostrophe s なきは、Hakuseki's とあるべきを、その Appositive noun の historian に、その記號を譲りたるなり。My friend にも、possessive の記號なけれども、Mr. Yoshino's と case を同くするが故に、勿論 Possessive Case たるべきなり。

(c) Objective Case:—

Have you met *Mr. Yamato*, the new **teacher**?

The next house belongs to my **friend** *Mr. Akitsu*.

第 参 章

THE PRONOUN.

第 壹 節

CLASSES OF PRONOUNS.

60. Pronoun は Substantive の一種なり。故に Sentence に於て、Subject 又は Object として用ひらるる語なり。文の中に同じ noun が反覆繰り返さるるは、文勢を害ふこと少からざれば、これを避けんがために、主として用ひらるる代用語なり。

61. 通常、Pronoun を分ちて四とす。即ち、

- (1) Personal Pronouns.
- (2) Demonstrative Pronouns.
- (4) Interrogative Pronouns.
- (3) Relative Pronouns.

これなり。

第 貳 節

PERSONAL PRONOUNS.

62. (a) I saw your friend in the street yesterday.
 (b) You must do your duty.

(c) He gained a prize for reading correctly.

例題 (a) なる I は、今物語り居る人をあらはし、(b) なる You は、物語を聞く人をあらはし、(c) なる He は、話中に物語らるる人を表はせり。かく、他のものと相関して事物を指示する文法上の形式を Person といふ。故に Person には three Persons の區別あるべき理なり。

- (1) The first Person.—物語る人を指示するもの。
- (2) The Second Person.—物語りかけられたる人を指示するもの。
- (3) The Third Person.—話中に物語らるる人、又は物を指示するもの。

63. 多くの Substantive は、three persons の何れかに用ひられ得べきも、Personal pronoun を除きたる他の pronoun と noun とは、一般に third person にのみ用ひ、完全に three persons を表示することなし。personal pronoun のみ、完全に three persons を表示するを以て、この名ある所以なり。

64. noun は通常 third person に用ふれども、稀には、他の person に用ふることもあり。例へば、

I, John, speak to you.

Thou, Lord, seest me.

Where are You going, Mr. Yoshino?

65. Personal Pronoun の変化は、次の表の如し。

Number.	Singular.			Plural.		
Person.	<small>Case.</small> <small>Gender.</small>	Nom. Poss.	Obj.	<small>Case.</small> <small>Gender.</small>	Nom. Poss.	Obj.
First.	Common.	I	my (mine)	me	Common.	We our (ours) us.
Second.	Common.	Thou thy (thine)	thee	Ye your (yours)	you.	You your (yours) you.
Third.	Masc. Fem. Neut.	He his (his)	him	All.	They their (theirs)	them.
		She her (hers)	her			
		It its	it			

〔注意第一〕 Possessive Case の形態に二様あり。括弧を附したる形態は、通常これを普通の形態より區別して、Possessive pronoun と稱し、常に Third person にのみ用ふ。

〔注意第二〕 Personal pronoun は、person, number, gender, case に變化すれども、眞に形態を變化するは case のみなり。

他の三の變化は、異なる語を用ひてこれを表はし、殊に gender の變化は、Third person singular にのみこれあり。

66. Personal pronoun の Possessive Case 又は objective Case の語尾に、self (Plur. Selves) を附加したるものと、Possessive Case の次に own を添へたるものとあり。これを Compound Personal pronoun と云ふ。これを表にて示せば次の如し。

Number.	Singular.			Plural.				
Person.	<small>Case.</small> <small>Gender.</small>	Nom.	Poss.	Obj.	<small>Case.</small> <small>Gender.</small>	Nom.	Poss.	Obj.
First.	Common.	myself.	my own.	myself.	Common.	ourselves.	our own.	ourselves.
Second.	Common.	yourself.	your own.	yourself.	Common.	yourselves.	your own.	yourselves.
Third.	Masc. Fem. Neut.	himself.	his own.	himself.	All.	themselves.	their own.	themselves.
		herself.	her own.	herself.				
		itself.	its own.	itself.				

〔注意〕 Compound personal pronoun は、通常 Reflexive Pronoun と稱す。

67. First person の personal pronoun に就きて、注意すべき條項は次の如し。

(a) I は、常に Capital letter にて書すべし。

(b) 君主、國務長官等の自稱には、I の代りに we を用ふ。

(c) 著者記者の自稱にも、I の代りに we を用ふ。

(d) we のこの用方は、俗語にも用ひられたり。例へば、小供が “give me some!” といふべきところに、“give us some!” といふが如し。

68. Second person の personal pronoun に就きて、注意すべき條項は次の如し。

(a) Thou は older singular form にして、Quaker と稱する宗派にては、今日にても、なほこれを使用すれども、現今の英語にては、Solemn style 若くは poetical style にのみ、これを用ふ。

(b) Ye は older plural にして、聖典の中には、これ

を nominative に用ひたり。されど、今日にては、詩に nominative of address として用ひ、objective にも同じ形態を用ふることもあり。例へば、Ye see, I see ye の如し。

69. Gender に就きて、注意すべき條項は次の如し。

(a) **He, she, it** の用法。Pronoun の gender は、この pronoun が代表する、noun の gender の區別に従ふ。例へば、

The *girl* loves **her** doll.

The *boy* killed a snake with **his** stick.

Each *thing* has *its* time.

(b) Third person singular には、common gender をあはす形態なきが故に、

Let every *man or woman* do as **he or she** likes.

I would *who has stolen my watch*. **He or she** must be some one that knows the inside of the house well.

の如く、“**he or she**” を用ひて、その缺けたるを補ふべし。或は、常に **he** を用ふるも差支なし。例へば、

I saw *someone* in the distance, but could not tell in what direction **he** was going.

Some one has forgotten **his** umbrella.

の如し。俗語にては、**they** を用ふ。例へば、

Let every *one* do just what **they** like.

If *any one* comes, tell **them** to wait.

A *person* cannot help **their** birth.

70. Prepositional possessive (“of me”) は、一般に被動的關係をあらはすために、possessive case (“my”) に代用せらるゝこと noun のときと同じ。(52 参照)

I can not bear the sight **of it**.

I will change my treatment **of him**.

71. Possessive には、二様の形態あり。次の如し。

	Singular.	Plural.
Simple possessive.	My. thy. your. his. her. its.	Our. your. their.
Absolute possessive.	Mine. thine. yours. his. hers. —.	Ours. yours. theirs.

72. Absolute possessive は、通常これを possessive pronoun と云ふ。所有物をあらはし、常に獨立して用ふ。言ひ換ふれば、Pronoun とその係屬する noun とが、verb によりて離隔せられたるとき、若くばその係屬する noun が省略せられたるときに、Simple possessive に代りて用ひらる。

This book is **hers**.

Those books are **theirs**.

This pen is **mine**.

My horse and **yours** (*your horse*) are tired.

My brother is not so diligent as **yours** (*your brother*).

73. Absolute possessive は、常に third person に用ひ、singular, plural にて、その形態を變化せず。Case に於ては、possessive を欠ぐ。

74. "My friend" は、a, the, this, that, some, any の如き語にて、これを Modify すること能はざるが故に、かくの如き場合には、"of mine" の形態を用ひざるべからず。(§ 54 参照)。

A friend of mine = a friend from among my friends.

That horse of yours is tired.

Is he *a friend of yours*?

My elder brother is going to America, and *some friends of his* held a farewell meeting for him.

75. Simple possessive に own を添ふれば、その語勢を強くす。即ち Reflexive Pronoun の possessive Case これなり。この形態は、absolute possessive としても、これを用ふることあり。

(a) Simple possessive として。

He has the control of **his own** money.

By being idle, you are working **your own** ruin.

(b) Absolute possessive として。

He gave it to a friend of **his own**.

I have some reasons of **my own** for wishing to do so.

76. Compound personal pronoun. その用方二つあり。

(1). Verb の object として。ある種類の verb の object としてこれを用ふれば、作動者の動作が、自己に反歸することをあらはす。かく用ひられたる verb を Reflexive verb と云ふ。

He killed himself.

I am dressing myself.

We must help ourselves.

Respect yourself, or no one else will respect you.

(2) Noun 又は pronoun の apposition として。他の noun 又は pronoun の語勢を強くするために、これと apposition に用ふ。

I myself wrote that letter.

He himself did it.

The *walls themselves* fell.

It was the *Queen herself*.

第 参 節

DEMONSTRATIVE PRONOUNS.

77. (a) **That** is my book.
 (b) **One** may do as **one** likes with **one's** own.
 (c) The two sisters loved, **each** loved **other**.

例題 (a) なる that, (b) なる one, (c) なる each, other は、何れも皆何ものかを指示して、云ふに用ふる。Pronoun なり。かくの如き pronoun を **Demonstrative Pronoun** と云ふ。而して、that は確と指示して云ふに用ひ、one は不定に指示するのみなり。each, other は、個々別々に、それぞれを指示して云へり。that の如きを **Definite Demonstrative Pronoun** といひ、one の如きを **Indefinite Demonstrative** といひ、each, other の如きを **Distributive Demonstrative** といふ。

78. Demonstrative pronoun に就きて、注意すべきことあり。多くの Demonstrative pronoun は、これを noun と共に用ふれば、直に adjective となることこれなり。

I shall not be ready **these** two hours yet.
 I attend the **same** school that he does.

His praise of me is not sincere; I don't like **such** a man.

Each bird has two wings.

の如し。されば、これ等の pronoun は、adjective より轉來せしものならんと云へり。恐くは、本來 adjective なりし語が、獨立して用ひらゝる様になりて、Substantive の性質を帶び、Pronoun と稱せらるゝに至りしならん。これ等の語は、獨立すれば pronoun となり、Noun に係屬すれば、Adjective となるが故に、通常これを Pronominals と云ふ。

DEFINITE DEMONSTRATIVES.

79. Definite Demonstrative の主なるものは、**he, she, it, they, this, that, the former, the latter, such, the same** 等なり。

80. Third person の personal pronoun は、前にある noun を指示するが故に、またこれ等を definite demonstrative なりと云ふことを得べし。而して、**they** は、男性の事物を指示する **he**, 女性の事物を指示する **she**, 無性の事物を指示する **it** の plural form なることも、personal pronoun のときと同じ。

Henry found that **he** was mistaken.

Elizabeth knew **she** could have **her** own way.

Bring the *light*; put **it** on the table.

The *travellers* fell asleep as soon as **they** arrived.

81. *it* の事物を指示する形式は、殊に注意すべし。これに二様あり。

(1) The **Backward Reference**. *it* が、前にある noun, noun phrase, noun clause を指示する形式を **Backward reference** といふ。

(a) 前にある noun を指示する形式は、*it* の普通の用法にして、上の例題に挙げたるが如し。

(b) Noun phrase を後より指示する形式。

To resist your acts was necessary as **it** (namely, to resist your acts) is just.

I attempted *to do it*, but found **it** (namely, to do it) impossible.

(c) noun clause を後より指示する形式。

He has done the state some service, and they know **it** (namely, he has done.....).

He is a great statesman; no one doubts **it** (namely, he is a great statesman).

(2) The **Forward Reference**. *it* が、後にある noun, noun phrase, noun clause を指示する形式を **forward reference** と云ふ。

(a) *it* がその指示する noun に先立つ用法は、稀に、修辭上の手段として、これを用ふ。例へば、

Surely, if needful, **it** is also frightful, this *machine*.

の如し。若し正しき形式に従へば、"*This machine is also frightful.*" とあるべきなり。

(b) Noun phrase が、*it* に先立たるる形式は、極めて普通なり。

I found **it** impossible *to do so*.

It was wrong *to waste time*.

It is not allowed *to walk on the grass*.

It is no use *trying to do so*.

(c) Noun clause が *it* に先立たる、形式も、甚だ普通なり。

It is surprising *how little we advanced*.

It is probable *that the day will be fine*.

It is your fault *that you were deceived by the same man twice*.

82. **This** (plural **these**), **that** (plur. **those**). Definite demonstrative としてのこれ等は、*it* よりも語勢強し。

83. **This** の何ものかを指示する形式は、*it* のと同じ。

(1) The **Back-ward reference**.

(a) to a noun:—

The king took no care of his *dignity*.

He knew that **this** was in no danger.

(b) To a noun phrase:—

Berwick was meantime endeavouring to persuade Jacobite Aristocracy to rise in arms. But **this** was no easy task.

(c) To a noun clause:—

Henry ordered certain Scottish ships to be seized. The Estates declared **this** to be a breach of the treaties.

You paid your debts, and **this** is quite sufficient to prove your honesty.

(2) The **Forward reference**.

(a) To a noun phrase:—

I learned **this** at least, to bear up against evil fortune with a cheerful heart.

(b) To a noun clause:—

Their real complaint against him was precisely **this that he was not dangerous**.

84. That の指示する形式は、Backward reference のみ。

(a) To a noun:—

The public had little relish for the glow of enthusiastic passion, or the richness of a luxuriant imagination; to those, accordingly, Queen Ann's wits made not pretention.

(b) To a noun phrase:—

He appears to have good attentions; **that** is not enough.

(c) To a noun clause:—

He stood his ground, and **that** firmly.

He may succeed, if he perseveres; but **that's** the question.

85. noun を云ひあらはさずして、事物を指示するには、その事物の位置に應じて、this 若くは that を用ふ。この場合には、手近にあるものを指示するには this を用ひ、稍隔れるものを指示するには that を用ふ。

What a beautiful view **this** is!

This is not so good as **that**.

That is your book.

These are made in **this** country.

Those are students of our school.

86. this, that は、前に記載せる二の事物を、差別して指示するに用ふることあり。この場合には、that は前なるをあらはし this は後なるを指示す。これと同じ用をなすもの、すべて三つあり。即ち、

(1) **that.....this.**

(2) **the former.....the latter.**

(3) **the one.....the other.**

これなり。例へば、

Virtue and *vice* are before you; **this** (namely, vice) leads to misery, **that** (namely, virtue) to peace.

Health is better than *wealth*; **this** cannot give so much happiness as **that**.

I like *dogs* than *cats*; **these** are not so faithful as **those**.

Charles XII. and *Peter the Great* were the two greatest men of the time. **The one** was loved by his people; **the other** was hated.

Hideyoshi and *Iyeyasu* were not always friends; **the former** was once defeated by **the latter** at Nagakute.

87. "My horse and that of my neighbor." の如き形態の中にて用ひられたる *that* は、事物を正確に指示する Demonstrative の性質なく、たゞ同じ noun の重複するを避けんがために、horse といふ noun に代用せられたるまでなり。されば、正しく云はゞ、かく用ひたる *that* は、Definite Demonstrative にはあらざれども、なほ普通には、Demonstrative とは稱せらる。二三の例を擧ぐれば、

Although he talked like a man of sense, his *actions* were **those** of a fool.

He mistook his own *room* for **that** of the stranger.

The *manners* and *customs* of the Japanese are different from **those** of the Chinese. His *dress* was **that** of a gentleman, but his *manners* were **those** of a clown.

88. **One** (plur. **Ones**). この語も、*that* と同じく、noun の重複するを避けんがために用ふる demonstrative なり。而して、前なる noun が Singular なるときは、*one* を以てこれを指示し、plural なるときは *ones* を用ふる。

He gained a *prize* last year; but he did not gain **one** (namely, a prize) this year. I want a *book* but I have no money to buy **one**.

He bought two gold *watches* and three silver **ones**.

若し、*one* が Adjective によりて modify せられたるときは、*a* (or *an*) を附することを得。

This knife is **a good one**.

I prefer a hard pencil to **a soft one**.

89. **One** は通常 "A + singular noun." の形と意義同じく、前に名指したる事物と同名同種類の他の事物を指示するに用ふる語なり。故に、前に *the*, *this*, *that* 若くば possessive case の noun, pronoun を附したる noun

に代用して、同一の事物を指示する *it* と區別するを要す。例へば、

Have you *a book*? Yes, I have **one** (a book).

Is there *a library* in your school?

Yes, there is a large **one** (a large library).

If you want *a book*, I will lend you **one** (a book).

なれども、

Have you *the knife*? Yes, I have **it** (the knife).

Have you *my knife*? **It** (my knife) is on the table.

She plucked a rose and threw **it** (*the rose*) to her friend.

なるが如し。

90. 同名異物を指示する場合に、若しその次に “of” の來るときは、*one* を用ひずして *that* を用ふべし。これ *one* と *that* との用法の相異なる所なり。

91. **Same.** Pronoun としてこの語を用ふれば、definite demonstrative となる。常に *the* を附し、その次には、通常 *that* 若くは *as* を用ふ。

The book I have bought is just **the same** *as* yours.

He bought a watch and broke **the same** the next day.

This is **the same** *that* I lost yesterday.

I have found *the documents*, and am now in possession of **the same**.

The same is the case with me.

92. **Such.** この語も、definite demonstrative として用ふることもあり。若し *as* の次に置きて、“*as such*” となれば、noun の重複するを避くる demonstrative となる。

Prosperous men are exposed to flattery, for **such** alone can be made to pay for it.

Kings are constituted **such** by law, and should be obeyed.

He is *a gentleman* and ought to be treated **as such** (as a gentleman).

He is the *judge* appointed to hear this case, and **as such** you must not speak to him before the trial.

93. **So.** この語は、本来 adverb なれども、noun の重複するを避くる demonstrative として用ひられて、*such* に代ることあり。

Is he *an enemy*? He is **so** (an enemy).

My business is *urgent*, and I hope you will treat it **so** (as urgent).

We should make people our friends, and keep them **so** (as such—our friends).

INDEFINITE DEMONSTRATIVES.

94. Indefinite demonstrative の主なるものは、*it, they, one, any, some* 等なり。

95. *It.* indefinite demonstrative としての *it* の用法は、次の如し。

(a) 天気、時刻、距離等の noun を挙げずして、直に *it* を用ふること多し。

Last night **it** (the weather) thundered all night, and I could not sleep at all.

It (the weather) may rain to-morrow.

It (the hour) does not take more than twenty minutes.

You must go home before **it** (the day) is dark.

It (the hour) was just twenty minutes to six when I got up.

How far is **it** (the distance) to the station?

It (the distance) is more than a mile from here.

(b) 文の中の subject, object, adverbial phrase に、強き語勢を附するために、*it* を用ふること多し。

Ordinary Construction.

My uncle gave me the watch.

My uncle gave *me* the watch.

My uncle gave me *the watch*.

We arrived *after twelve*.

I want *a pen*.

I have heard of your affliction *with the greatest concern*.

Emphatic construction with 'It.'

It was **my uncle** that gave me the watch.

It was **to me** that my uncle gave the watch.

It was the **watch** that my uncle gave me.

It was **after twelve** that we arrived.

It is **a pen** that I want.

It is **with the greatest concern** that I have heard of your affliction.

(c) *it* の次の用法に注意すべし。

Is **it** well with you? (=are you well?)

How is **it** with him? (=how is he?)

It is always so with him. (あの人はいつも左様だ)

It is all up with him after a long illness.

(永らくの病氣だがあの人はもうだめだ)

It is all over with him after a long illness.

(永らくの病氣だがあの人はもうだめだ)

Who is **it**? It is I.
I thought **it** was they.

96. **They**. indefinite demonstrative としての they は、正確に人を指示して言はざるときに用ふ。

They say that the harvest is good this year.
They say that honesty is the best policy.

されど、この文はそれぞれに、

The harvest is said to be good this year.
Honesty is said to be the best policy.

といはん方まされり。

97. **One**. この語は、大凡に人を指示して言ふに用ふ。any man と同じ意味なれど、語意弱し。

One should be obedient to *one's* parents.
One should take care of *one's* health.
It is right for **one** to be polite to *one's* guests.

One is apt to think *oneself* faultless.

この one は、常に Singular にして、且つ、之に應ずる Pronoun は、また one ならざるべからず。

DISTRIBUTIVE DEMONSTRATIVES.

98. distributive demonstrative は、noun の云ひあらはす事物を、一まとまりとしてこれを指示し、若くば、個別々に、指示する Demonstrative なり。その主なるも

のは、All, both, any, either, none, neither, each, another, each other, each another 等なり。

99. **All, Both**. both は二個の事物を、all は三個以上の事物を、一まとめにして指示するに用ふ。

All of them are very clever.

These are **all** I have.

I don't know **all** of them.

Both of his parents are dead.

His brothers are **both** living.

I don't know **both** of them.

100. **Any, Either**. either は二個の事物の何れか一つを指示し、any は三個以上の事物の何れか一つを指示するに用ふ。これ等の語は、通常、疑問若くば否定の文に用ふ。

He has three brothers. Have you know **any** of them?

I do *not* know **any** of them. (=I know **none** of them.)

Have you know **either** of his parents?

I do *not* know **either** of them. (=I know **neither** of them).

[注意第一] “not all,” “not both” は、一部を否定し、“not any,” “not either” は、全部を否定するに用ふ。而して、“none,” “neither” は not any, not either の合して一語となりたるものなり。

〔注意第二〕 Any, either を肯定の文に用ふることあり。この場合には、撰擇の自由を放任する意を含む。

You may read **any** of these books.

You may study **either** of the two languages.

Give me a pen or a pencil; **either** will serve my purpose.

〔注意第三〕 None は、Singular にも plural にも用ふ。

None but the brave *deserves* the fair.

None of my lost books *were found*.

されど、今日にては、一般に Singular にのみこれを用ふ。

101. **Each other, Each another.** each other は二の事物につきて、one another は三個以上の事物につきていふに用ふ。

The *two* men struck **each other**.

The *two* hated **each other**.

They all loved **one another**.

Boys, don't speak with **one another**.

第 四 節

INTERROGATIVE PRONOUNS.

102. (a) **What** did you say?
 (b) **Who** calls so loud?
 (c) **Which** of them do you want?

例題 (a) なる what, (b) なる who, (c) なる which は、皆疑問を尋ぬるに用ふる pronoun なり。これ等の三を **Interrogative pronoun** といふ。

103. Interrogative Pronoun の變化は次の如し。

Number.		Singular and plural.		
Case.		Nom.	Poss.	Obj.
Gender.				
Common.		who?	whose?	whom?
All.		what?	—	what?
All.		which?	—	which?

104. Interrogative pronoun が、preposition の object に用ひられたるときは、これを preposition の前に置くことあり。後に置くことあり。

Of whom did you speak?

What are you thinking *of*?

To whom does it belong?

By whom was it written?

What is that hole *for*?

In which room do you sleep?

Which room do you sleep *in*?

105. **Who?** は人にのみこれを用ふ。**What?** は人又は物に用ふ。

Who is he?

What is he?

What is lightening?

[注意] who?, what? 何れも人に用ふれども、このあ
らはず意義は相異なれり。who? は人の名又は家系を尋
問するに用ふ。

106. Which? は、人又は物に用ひ、差別の意をあら
はす。

Which of these books do you prefer?

Which of you spoke?

Which is the head boy in this class?

Which is the shortest way?

107. Whose? は possessive pronoun の如くに用ふる
ことあり。

Whose book is that? (*ordinary possessive*).

Whose is that book? (*possessive pronoun*).

108. "What right have you to interfere?" の如き文は、
たい終辭上の疑問文にして、常に驚愕の意を含むが故に、
轉じて、exclamative sense をあらはすにこれを用ふるこ
とあり。かく用ひられたる what を Exclamatory In-
terrogative と云ふ。

What a wonderful sight!

What an eye he has!

What an idiotic fellow he is!

109. 直に noun の前に附したる what?, which? は、
Adjective として用ひられたるものなり。例へば、

Which plan do you think is better?

What pen can be better than this?

Which book do you want?

What man is that?

110. Interrogative Pronoun は、Connective として用
ひらるることあり。例へば、

I will tell you who he is, but not what
he is.

Can you tell me what is the lion like?

Which of these books do you think I
prefer?

の如し。かく用ひられたる Interrogative pronoun を、
Conjunctive interrogative pronoun といふ。

[注意] なほ Connectives の篇にて、詳にこれを解説
すべし。

第五節

RELATIVE PRONOUNS.

111. (a) He praises only those whom he
likes.
(b) Words which were formerly cur-
rent and proper are now obsolete.

(c) He spends all **that** he earns.

(d) He did **what** was right.

例題 (a) なる whom は、前にある those といふ pronoun を代表し、且つ、“he praises only those” と、“he likes” との二の clause を接続する用をなし、(b) なる which, (c) なる that も、それぞれに words と man とを代表し、且つ、二の clause を接続する用をなせり。(d) なる what も同じ用をなせども、ただその語の中に、その代表すべき語を含めることの相違あるのみなり。これ等の四の語を **Relative Pronoun** といふ。

112. Relative Pronoun は、Substantive の用をなすのみならず、一種の connective なることに注意すべし。例へば、

I know the man **whom** you mention.

といふ文に就きて考ふるに、whom は mention といふ verb の object なるのみならず、those といふ noun に係屬して、二の clause を接続する職能をなせり。

I saw a tree **whose** top was dead.

にても、whose は tree の possessive Case に等しく、且つ tree に係屬して、二の clause を接続する語となるなり。

113. すべて、pronoun によりて代表せらるる語を、その **Antecedent** といふ。“the book *which* you bought —” に就て云はば、which は book をその antecedent として、これを代表せるなり。

See these *houses*; **they** are all my uncle's.

We expressed **our** opinion.

Henry found that **he** is mistaken.

等の文に於て、they, our, he の antecedent は、それぞれに houses, we, Henry なり。Pronoun の Person, Number, gender は必ず antecedent と一致するものと心得べし。

114. Relative Pronoun は、who, what, that, which の四の語にして、その變化は次の如し。

Number.		Singular and Plural.		
		Nom.	Poss.	Obj.
Gender.	Common.	who	whose	whom.
	Neutre.	which	whose (of which)	which.
Neutre.		what	—	what.
All.		that	—	that.

115. **who, which** は、通常用ふる Relative Pronoun にして、who は人間に用ひ、which は人間以外の動物及び無生物に用ふ。

I want a *man* **who** is proficient in English.

That is a *man* **whom** I met at my uncle's.

I have found the *sheep* **which** was lost.

The *house* **which** he built still remains.

而して、which の possessive case には、二様の形態あり。“of which” は最も普通の形態にして “whose” は稀に用ふることもあるも、及ぶ限り、これを避くべし。

I saw a tree **whose** top (the top **of which**) was dead.

116. **That** は、人間にも物にもこれを用ふ。

The *man* **that** you are looking for has come.
This is the *house* **that** I live in.

117. **What** は *that (those) which, thing (things) which* の義に等しく、他の Relative Pronoun と異なりて、その語中にその antecedent を含蓄す。

I can not tell you **what** (=the *thing which* then happened.

The child does not mind **what** (=that *which*) his mother says.

118. 口語にては、Relative Pronoun が、若し Verb 若くは Preposition の object なるときは、一般にこれを省略す。例へば、

This is the book I told you of.

The man I saw yesterday comes there.

されど、文章にては、通常これを省略せず。

This is the book of **which** I told you.

The man **who** (or **that**) I saw yesterday comes there.

119. **who, which** が、若し preposition の object なるときは、preposition の次に、これを置くことを得。

The book *of which* you told me.

The man *with whom* I live.

The letter *to which* you refer.

されど、**that** は決して preposition の次に置くことを得ず。故に、若し上の例題にある **which, whom** の代りに、**that** を用ふれば、その構造は、次の如く改めざるべからず。

The book **that** you told me *of*.

The man **that** I live *with*.

The letter **that** you refer *to*.

120. **who** は本来 interrogative Pronoun なり。第十二世紀若くは十六世紀の頃より、relative として用ひたり。**who** の用法には、二種あり。

(a) **Co-ordinate use.** 同一の資格の clause を接続するに用ふ。これを **Co-ordinate use** といふ。この場合には、その antecedent は、Relative にて引き出づる clause を要せずとも、その意味は完全に表示せられ、relative clause は、單に antecedent の表示する意義に、更にある意義を附すべく添加せられたるに過ぎず。かくの如くに用ひたる relative は、これを Pronoun と Conjunction との二つに書き更ふることを得べし。

I have seen my friend, **whom** I recognized at once.

この文に於ては、relative は Co-ordinate use なり。whom の代りに “and he” を置くも、なほその意義を害はざるべし。次のものは、用法これと同じく、形式少しく異なるものなり。

It is strange that he should have been ungrateful to you, **who** did so much for him.

この文にても、who は Co-ordinate use なり。されど、who の代りに置き得べきは、“for you” ならば、こゝにては、relative clause は、adverbial clause となるなり。

(b) **Restrictive use.** antecedent を説明する、言ひ換ふれば、antecedent の用ひらるゝ範圍を限定する clause を引き出づるに用ふ。即ち、漠然として云ひあらはされたる antecedent を、正確に表示せんために、Relative Clause が用ひらるるなり。Relative のこの用法を **restrictive use** といふ。この場合には、relative clause は、常に adjective clause にして、その用法は adjective に等しく、これなくば、antecedent が如何なるものを表示するかは、明晰に會得せられざるなり。

He is the man **who** gave me a book.

この文にては、“who gave me a book” は、antecedent なる man の如何なる人なるかを、明晰に會得せしむるために、必須なる adjective clause なり。若しこの clause なくば、*what man?* の疑問が説示せられずば、誤解を

さへ生ずることあるべし。relative のかく用ひらるゝことを **restrictive use** とは云ふなり。

We love those persons *who* are kind to us.
この文に於ても、who は restrictive use なり。

[注意] relative が co-ordinate use に用ひらるゝときは、常にその前に句點を附す。

121. Which も、本來は interrogative Pronoun なり。今日にてには、who と同じく、Relative としてこれを用ふ。Which にも Co-ordinate use と restrictive use との二様の用法あり。

(a) **Co-ordinate use.**

At school I studied Geometry, **which** (=and it) I found useful afterwards.
He began to read the book, **which** (=and it) proved very easy for me.
He struck the poor dog, **which** (=although it) had never done him harm.

(b) **Restrictive use.**

The house **which** he built still remains.
I have found the book **which** I lost yesterday.

Cats **which** wear gloves catch no mice.

122. That は尤も制限的意義を帯ぶるが故に、restrictive use にのみこれを用ふ。且つ、restrictive relative としての who, which に代用すること多し。

Mr. A is the man **that** (*who*) taught me English.

I should like to read a book **that** (*which*) is both easy and interesting.

123. Restrictive relative としての **that** は、尤も制限的意義強きが故に、次の如き場合には、常に **that** を使用し、決して *who*, *which* はこれを用ふべからず。

(a) Antecedent が superlative degree の adjective によりて限定せらるる場合。

One of *the wisest* men **that** ever lived.

He was *the first* Englishman **that** trod on Japanese soil.

The last man **that** lived.

(b) antecedent に *the only*, *the same*, *the very* の如き語の附せられたる場合。

Man is *the only* animal **that** laughs.

This is *the same* watch **that** I lost.

That is *the very* thing **that** I want.

なほこの外に、同時に人間及び物を代表するにも、常に **that** を用ふべし。

The men and things **that** I have studied.

124. **that**, *who*, *which* は、何れも restrictive relative なり。されど、*who*, *which* には二様の用法あるが故に、文意の晦澁を生ずるの恐あれば、restrictive relative としては、**that** を用ふるかた意義明瞭なるべし。

125. **Which** には、なほ以上の外、特別の用法あり。即ち、**which** が、phrase 若くば clause を代表することこれなり。これ **which** が、他の relative と大に異なる所なり。

(a) Phrase に関係する用法。

He is a soldier, **which** I should like to be.

After leaving school he *went to sea*, **which** he did in order to improve his eye-sight.

(b) Clause に関係する用法。

Cæsar crossed the Rubicon, **which** was in effect a declaration of war.

We shall have the governess in a day or two, **which** will be a great satisfaction.

かく用ひたる **which** は、(*and it, this or that*) の意義をあらはし、demonstrative としての *it, this, that* と著しく類似するところあるを見るべし。

126. **But**. **But** といふ Conjunction は、まゝ relative Pronoun に用ひられて、negative restrictive の最も勢力ある形となる。but は principal clause が否定の意を含むときにのみ、“*that.....not,*” “*who.....not,*” “*which...not*” の意に用ふ。常に restrictive relative なり。

There was *no one* **but** did his best (=that or who did not do his best).

There is *no rule* **but** bends to circumstances.

Who is there **but** commits errors? (=that does not commit errors?)

最後の例題に於ては、principal clause に否定をあらはす語なきも interrogative は常に否定の意を含むが故に、negative restrictive の **but** 用ひられたるなり。蓋し、その奥には、“there is no one that does not commit errors” の意を含めるなり。

127. **As.** **As** も **such**, **same** と相關して用ふるときは、restrictive relative となることあり。

I can always find there *such* articles **as** I want

He came by *the same* train **as** we did.

128. **Who**, **which**, **what** の變化に “**ever**” を附して合成語を形成することあり。これを **Compound relative** といふ。これ等の合成語の特質ともいふべきは、その意義に於て、interrogative pronoun の意義を含むことこれなり。而して、これ等は、何れも antecedent と relative とを兼ねるものなり。

Nominative.	whoever=any one who.
Possessive.	whosever=any one whose.
Nominative.	} whichever=either or any
Objective.	
Nominative.	} whatever=anything that.
Objective.	

例へば、

Whoever strives to do his duty faithfully is fulfilling the purpose for which he was created.

He is ready to take on trial **whomever** you may recommend.

Whatever is begun in anger, ends in shame.

You may study **whichever** you choose.

[注意第一] Compound relative の case form は、relative としてのその職能によりて、これを定む。例へば、

I will reward **whoever** (=any one *who*) can answer.

You may give the book **whomever** (=any one *whom*) you like.

[注意第二] なほ Connectives の篇に於て精しく説明すべし。

129. relative pronoun も直に noun の前にこれを用ふれば adjective となること Interrogative のときと同じ。

例へば、

At Liverpool he remained for seven weeks before he could obtain employment, during **which time** he lived in sheds and fared hardly.

I have lost **what little hope** I had.
 He beat her on the cheek, **which rude act** he greatly regretted afterwards.
 You may take **whichever course** you prefer.
Whatever employment you follow with
 perseverance, will be found fit for you.

第四章

THE ADJECTIVE.

第壹節

CLASSES OF ADJECTIVES.

130. (a) These are **students'** rooms.
 (b) Charles, **King of England**, was executed.
 (c) I will not go until **my** father comes.
 (d) This is the house **that Mr. A built**.
 (e) **The white** bear is covered with **long, thick, white** fur.

例題 (a) なる **students'** は rooms に (b) なる King of England は Charles に、of England は King に (c) なる **my** は father に (d) なる "that Mr. A built" は house に (e) なる The, white は bear に、long, thick, white は fur に係属して、何れも皆 noun の適用を限定し、且つ、これにある意義を附する語句なり。かくの如き語句を **Adjective Element** といふ。

131. されば、Adjective element は、あらゆる Substantive に添加したる modifier の總稱なりといふべし。Adjective element より、Phrase, Clause 及び Substantive を除きたる殘餘の語を **Adjective** といふ。上の例題なる adjective element の中にて、my, white, the, long, thick は、何れも皆 Adjective なり。

132. adjective を分ちて、通常三とす。即ち、

- (1) **Pronominal Adjectives.**
- (2) **Adjectives of Quantity.**
- (3) **Adjectives of Quality.**

これなり。

第 貳 節

PRONOMINAL ADJECTIVES.

133. (a) **My** book is on the table.
 (b) **Those** cloths are made in **this** country.
 (c) **What** bird is that?
 (d) The lectures are given in German, **which** language I do not understand.

例題 (a) なる my は、本來 possessive case の personal pronoun にして、(b) なる Those, this は、獨立すれば即ち demonstrative pronoun なり。(c) なる what, (d) なる which は、それぞれに、本來は interrogative pronoun と

relative Pronoun となり。これ等の adjective が、pronominal adjective と稱せらるゝは、何れも皆 pronoun より轉じたる adjective なればなり。これ等の語の次には、noun を伴へるによりて、眞の pronoun にあらざることを知るべし。

134. Pronominal adjective は、pronoun としてのそれ等の種類に従ひて、通常これを四種に區別す。即ち、

- (1) **Possessive Adjectives.**
- (2) **Demonstrative Adjectives.**
- (3) **Interrogative Adjectives.**
- (4) **Relative Adjectives.**

これなり。

135. Pronominal possessive adjective は、my, our, your, his, her, its, their なり。(第三章第二節 personal pronouns を見よ)。

136. Pronominal demonstrative adjective は、Pronoun の如くに、更にこれを三つに區別し得べし。

- (1) **Definite Demonstrative Adjectives.**
- (2) **Indefinite Demonstrative Adjectives.**
- (3) **Distributive Demonstrative Adjectives.**

137. Definite demonstrative adjective の主なるものは、this, that, such, same なり。

138. This (plur. these), That (plur. those). これ等の語は、plural によりて變化し得る adjective なり。this

は手近にあるものを指示するに用ひ、that は稍遠きものを指示するに用ふる事、pronoun としての用法に同じ。何れも人にも物にもこれを用ふ。

This room is not large enough.

This pen is better than **that** pen.

Those cloths are made in **this** country.

Both **these** books are interesting and instructive.

139. **This** を時をあらはす副詞的成句に用ふれば、present, immediate past, immediate future をあらはす。

(a) 現在の時。

This moment, **this** very day, **this** week, **this** month, **this** year.

(b) 過去の時。

He embarked from Yokohama **this** day week.

I have been studying English **these** four years.

(c) 未来の時。

We will meet again **this** day week.

I shall not be able to finish it **these** five or six days yet.

Give me an answer **this** day month.

140. **That** の變形に **the** あり。この語は、普通にこ

れを **Definite Article** といふ。(第五章 Articles を見よ)。

141. **Such**. a (or an) と共にこれを noun に附するときは、常にこれに先んず。

I have never known **such** a clever boy.

I wish I could solve **such** a difficult problem.

His praise of me is not sincere; I do not like **such** a man.

He will not submit to **such** treatment.

Such は、通常 *as* 若しくは *that* を伴ふこと多し。この場合には、*as* は Relative Pronoun にして、*that* は結果をあらはす adverbial clause を引き出づる conjunction なり。

We should choose **such** companions *as* will benefit us.

He does not study with **such** diligence *as* his brother.

He spoke with **such** eloquence *that* every body was moved with tears.

He progressed with **such** rapidity *that* he was soon a head of his class.

142. **Same**. この語には常に *the* を附す。通常 *as* 又は *that* を伴ふこと多し。“the same.....*as*” の次に clause を置けば同種類の事物を指示し。“the same.....*that*” の次に clause を置けば、同一の事物を指示する意となる。

We live in **the same** house, and eat at **the same** table.

He came from **the same** province *as* myself.

This is **the same** watch *as* I lost.

That is **the same** man *that* show me the way.

“*The very same*” は、語意更に強し。

You told him to come here to-morrow, and I gave him **the very same** answer.

143. Indefinite demonstrative adjective の主なるものは、*one, certain, some, any* (no) なり。

144. **One**. 通常時をあらはす副詞的成句に用ひ、不定に指示する意をあらはす adjective なり。例へば、*one day, one night, one evening, one morning, on one occasion* 等の如し。

145. **Certain**. この語は、殊更に事物を不定に指示するに用ふる adjective なり。例へば、

A **certain** friend of mine wishes to buy it.

といふ文につきて云はゞ、この文にては、*friend* はある特殊の人を表示するに用ひたるものなれども、物語る人が殊更に確とそれの人と指示して云はざる意にて、*certain* を附したるなり。

He says he has had offers from **a certain** school.

この文にても、*school* は特殊の學校をいひあらはすものなれども、物語る人にも確と明ならざれば、固より正確にいつれと指示して云ひあらはし難きが故に、*certain* を附して不定にこれを指示していひあらはせしなり。

146. **Some, any**. *Certain* と同じく、何れも不定に指示していふに用ふる adjective なり。ただ不定指示の意、*some* は *certain* より強く、*any* は *some* より更に強し。次の文を見よ、

(a) A **certain** gentleman called on me yesterday.

(b) **Some** gentleman must have called in my absence.

(a) にては *gentleman* の何人なるかは、物語る人はよくこれを知れども、殊更に確とそれを指示して云はざるの意なり。(b) にては *gentleman* は、ある特殊の人にてあるべきも、物語る人にも確と分らざれば、*some gentleman* と不定に指示して云ひあらはしたるなり。

(c) **Some** boy did call you in your absence, but I do not know who it was.

(d) Can **any** boy answer the question?

(c) に於ては、*some boy* は、特殊の人にはあれど、物語る人もその誰人なりしかを確と知らざれば、不定に指示していひあらはせるなり。(d) に於ては、*boy* は物語る

人が確と指示していふ能はざるのみならず。特殊の人を表示することすらなく、たゞ幾人かの boy の中につき、何れか疑問に答へ得るものを、不定に指示せるまでなり。

147. Some は通常肯定の文に用ひ、any は否定条件若くば尋問の文に用ふ。

I expect **some** friend this evening.
 Is he studying **any** foreign language?
 He is studying **some** foreign language.
 He is *not* studying **any** foreign language.
 He attends **some** school in Hongo.
 Did **any** man call me to-day?
Some student did call, but I do not know who it was.
 Do you know of **any** good teacher of English?
 I do *not* know of **any** good teacher of English.
 If I know of **any**, I will let you know.
 If you want **any** book, I will give it to you.

〔注意第一〕 Indefinite demonstrative adjective としての some, any は、Singular Common noun と共に用ふ。若し Plural Common noun, Abstract noun 若くば Material noun に伴ふときは、Adjective of quantity なりと知るべし。

〔注意第二〕 “not any” は、一語となりて “no” となることあり。例へば、

I want **no** book (=I do *not* want *any* book).
 の如し。

148. A (or an) もこの種類に属すべき adjective なれども、普通に、これを Indefinite Article と稱して、別種の Part of Speech として取り扱ふ。(第五章 Articles を見よ)

149. Distributive Demonstrative Adjective の主なるものは、each, every, all, both なり。

150. Each (各々それぞれの)。その意義は常に Singular にして、通常 Singular common noun に伴ふ。獨立すれば Demonstrative Pronoun となる。二つ若くは三つ以上の事物を個々別々に指示する意に用ふ。

Each brother has his own house.
 I gave **each** of the men twenty sen.
Each man has his own ambition.
Each school has its principal.
Each has its own parents.

151. Every. (何れも皆)、常に Singular Common noun に伴ふ。個々別々にそれぞれを指示しつゝ、悉皆の事物を一まとめにして表示するに用ふ。言ひ換ふれば、“**Each and All**” の意をあらはすものなり。

Every man has his weak side. (=all men have their weak side).

Every school-boy knows that.

Every dog has four legs.

England expects every man to do his duty.

〔注意第一〕 every は “each and all” の意なれば、each とは自ら趣意を異にす。each は單に個々別々に指示するに過ぎざれども、every は個々別々に指示すると同時に、全稱の意義を有するものなればなり。

〔注意第二〕 否定の “not every” は、(何れも皆ではない)の意にして、全體を否定せず。

Every boy does *not* study hard. (=some do, and some don't study hard.)

Every bird does *not* sing. (=some do, and some don't sing).

〔注意第三〕 “Every three days.” “every few steps” の如き慣用句は、three days, few steps を一の集合體を表示するものと見做して、これに every を附したるものなり。

〔注意第四〕 Every は、その次に來る noun を省略すること能はざるが故に、pronoun として用ひず。pronoun としては、every one, every body, everything の如く、合成語を用ふ。

I know every one of those students, but I don't know every one of them by name.

One can not please every body.

A man can not know everything.

152. Both, All. これ等の語を the, these, those, my, your 等の語と共に用ふるときは、常にこれに先んず。

All the houses were burnt down.

All these books are interesting and instructive.

All your schoolmates are diligent.

Both his parents are living.

I know all those students.

I have lost both my children.

〔注意〕 every は、個々別々に指示しつゝ、悉皆を表示すれども、all は單に悉皆の事物を表示するのみなれば、その意味は all よりも every の方優勢なり。

All the students were present and every one of them knew his lesson well.

153. Interrogative adjective は、what, which なり。何れも皆人にも物にも用ふ。

What man is he?

What book do you want?

In which room do you sleep?

Which man will you engage?

154. Relative adjective は、what, whatever, which, whichever なり。何れも皆人及び物に用ふ。

What friends he gained he kept.
 He saves **what** little money he earns.
 You will soon be able to read **whatever**
 book you like.
 We asked for the lieutenant, **which** officer
 was to show us over the ship.
 My brother may arrive this evening; in
which case I will let you know.
 You may study **whichever** language you
 choose.

第 参 節

ADJECTIVES OF QUANTITY.

155. (a) There was **much** snow last winter.
 (b) He has **many** friends.

例題 (a) なる much, (b) なる many は、何れも数又は分量の多少をいひあらはす adjective なり。かくの如き adjective を **Adjective of Quantity** といふ。而して、(a) なる much は snow の分量の多きことをあらはし、(b) なる many は friend の数の多きことをあらはせり。かく、adjective of quantity の中には、量の幾何なるかをあらはすものと、数の若干なるかを示すものとあり。故に、これを區別すること次の如し。

- (1) **Quantitative Adjectives.**
 (2) **Numeral Adjectives.**

156. 量をあらはす quantitative adjective は、常に singular noun に伴ふ。而して、この noun は、material noun か abstract noun かの何れかなり。若しこれを material noun に附すれば、量をあらはし、abstract noun に附すれば、度合をあらはす。

量をあらはすもの	度合をあらはすもの
much bread.	much patience.
little wine.	little diligence.
sufficient time.	sufficient courage.
any ink.	any difficulty.
some paper.	some skill.

157. Little, a little, the little. これ等の語は、何れも much に對して少量の意義をいひ表はせども、その間には多少の相違あり。

(a) *little*. 否定の adjective にして、無き方に重きを置きていふときに用ふ。“not much”の意なり。

He had **little** money.

He grows worse and worse; there is **little** hope of his recovery.

(b) *a little*. 肯定の adjective にして、有る方に重きを置きていふときに用ふ。“a certain quantity, however little”の意なり。

He had **a little** money.

He is not much better; there is **a little** hope of his recovery.

(c) *the little*. 否定と肯定と両方に通じてこれを用ふ。

He spent **the little** money he had.

この文には、

He spent all the money that he had. (肯定)

The money he had was not much. (否定)

の二様の意義ありと知るべし。

158. **Some, Any**. 二の adjective には、その用方に差あり。

(a) 肯定の文には、**Some** を用ふ。

He has **some** patience, but not any courage.

He has got **some** bread.

(b) 否定の文には、**any** を用ふ。

He has some patience, but **not any** courage.

He has **not got any** bread.

(c) 疑問の文には、**any** を用ふ。

Have you **any** money about you?

Have you drunk **any** wine?

〔注意第一〕 plural common noun に伴ふ **some, any** は、数をあらはす numeral adjective なり。

〔注意第二〕 **Some** は adverb として用ひ、“*about*” の意をあらはすことあり。

It is **some** forty miles from here.

There were **some** seventy students present.

〔注意第三〕 否定の “*not any*” は、一語となりて “**no**” となること多し。no は量の皆無をあらはす否定の adjective にして、material 又は Abstract noun に伴ふ。

He has **no** money. (=he has *not any* money.)

He has **no** talent (=he has *not any* talent.)

159. Numeral adjective は、事物の数の幾何なるかをあらはす、adjective of quantity なり。而して、numeral adjective の中には、three boys, seven years の如く、定数をあらはすものあり。many students, few men の如く、不定数をあらはすものあり。前者を **Definite Numeral Adjective** といひ、後者を **Indefinite Numeral Adjective** といふ。

160. Definite numeral の中には、また数をあらはすものと、序次順序をあらはすものと、倍数をあらはすものとあり。故に、definite numeral は、更にこれを三種に區別するを得べし。

(1) **Cardinals**. 数の幾何なるかを正確に表示するものをいふ。常に plural common noun に伴ふ。

Three houses; **fifteen** boys; **twenty** minutes; **two hundred** yen.

(2) **Ordinals.** 事物が如何なる順序に排列せらるゝかを、正確に表示するものをいふ。常に singular common noun に伴ひ、且つ、前に “the” を附す。The first boy; the second book; the fifth house; the seventeenth of May.

〔注意〕 大抵の ordinal は、Cardinal の語尾に “th” を附してこれを作る。例へば、Seven, seventh; eleven, eleventh; fifty, fiftieth; hundred, hundredth の如し。

(3) **Multiplicatives.** * 幾度反覆せらるるかを正確に表示するものをいふ。Singular 又は plural common noun に伴ふ。

Half the sum; double the expenses; treble the money; the triple alliance.

161. 大数を讀むには、hundred の次に “and” を入れ、hundred なければ、thousand の次にこれを置くべし。

1,563. = One thousand five hundred and sixty three.

1,025 = One thousand and twenty five.

“1,100” より “1,999” までの年號を讀むには、三様あり。

1,895 = in the year one thousand eight hundred and ninety five.

= in eighteen hundred and ninety-five.

= in eighteen ninety-five.

“21” より “49” までの數は、次の如くに讀むことを得。

25 = five and twenty.

37 = seven and thirty.

48 = eight and forty.

“50” 以上の數に就きても、稀にこの讀方を用ふることもあり。分數を讀むには。

$\frac{1}{2}$ = one half (or a half).

$\frac{1}{3}$ = one third.

$\frac{2}{3}$ = two thirds.

$\frac{1}{4}$ = one fourth (a quarter).

$\frac{2}{4}$ = two fourths.

$\frac{5}{7}$ = five sevenths.

$1\frac{1}{2}$ = one and a half.

$8\frac{2}{3}$ = eight and two thirds.

‘Henry VIII.’ の如き人の名を讀むには、

Henry VIII. = Henry the Eighth.

Napoleon III. = Napoleon the third.

William I. = William the First.

162. Cardinal は、noun に用ふることもあり。

By twos and threes.

A man in his thirties.

A lady in her twenties.

Hundreds of men.

Tens of thousands of people.

163. Indefinite numeral adjective は、事物の数の多少を、大凡に表示するものをいふ。

164. **Many**. この語は多数の意をあらはし、plural common noun と共に用ふ。

He has **many** friends.

There are **many** trees on the mountain.

Many には、“*Many a*”, “*A many*” の慣用句あり。

(a) **Many a**. Many は plural の意義を有すれども、a に先んずるときは、singular common noun に用ふ。ここにては、a は one の意にして、“*many a man*” は “many times one man”、言ひ換ふれば、many men となるなり。即ち、many は multiplicative の用をなすものなり。

Many a student has fallen a victim to this vice.

Many a man has tried to get rich, without succeeding.

(b) **A Many**. Plural の意義を有する many に a を附し、plural common noun に用ふることもあり。ここにては、many は collective noun の用をなし、これと noun との間に “of” の省略せられたるものなり。通常 a と many との間に、great, good などの語を挿入すること多し。

She has shed **a many** (*of*) tears.

There are **a great many** (*of*) schools in Tokyo.

There are **a good many** (*of*) teachers of English.

[注意] definite numeral も、a many の如くに、Collective noun の用をなすことあり。例へば、**A dozen** (*of*) sheep, **a hundred** (*of*) years の如し。

165. **Few, A few, The few**. これ等の語は、皆少数の意をあらはせども、自らその間に相違あること、little, a little, the little の關係に同じ。

(a) **Few**, 否定の adjective にして、many に對して、not many の意をあらはす。無き方に重きを置きていふなり。

I spent **few** days in this city.

There are many students, but **few** good students.

(b) **A few**. 肯定の adjective にして有る方に重きを置きていふ adjective なり。

I spent **a few** days in this city.

There are **a few** honest people.

(c) **The few**. 肯定又は否定に共通する adjective なり。

He read **the few** books he had.
 (=the books he had were not many).
 (=He read all the books he had).

166. **Some, Any.** これ等の語の後に、plural common noun を用ふれば、indefinite numeral なり。其の用法は次の如し。

(a) 疑問の文には、any を用ふ。

Are there **any** navigable rivers in Japan?
 Are there **any** German books?

(b) 肯定の文には、Some を用ふ。

There are **some** navigable rivers in Japan.
 He knows **some** foreign languages.

(c) 否定の文には、any を用ふ。

There were *not* to be found **any** shells
 in the shore.
 An Englishman does *not* use **any** unnecessary words.

〔注意〕 Some, any は、Common noun の Singular に用ふれば、Indefinite Demonstrative adjective となり、plural に用ふれば、Indefinite numeral となり、material 又は abstract noun に用ふれば、quantitative adjective となり、獨立すれば、Indefinite demonstrative pronoun となる。

第四節

ADJECTIVES OF QUALITY.

167. (a) The **white** bear is covered with **long, thick, white** fur, which keeps him **warm** in the **coldest** day.
 (b) One **fine** day I saw a group of **merry** boys playing in a play-ground.

例題 (a) なる white, long, thick, warm, coldest, (b) なる fine, merry 等の語は、noun の適用を限定するのみならず、人または事物が如何なる性質状態を具へたるかをいひ表はす adjective なり。かくの如き adjective を Adjective of quality といふ。

168. Adjective of quality は、その数甚だ多く、實に本性的形容詞なり。その中には、かくの如き本性的のもの、外に、他の part of speech より轉來したる多數のものを含蓄す。その種類は次の如し。

(1) **Proper Adjectives.** proper noun より轉來せるものなり。

The **Japanese** language.
 The **Tokyo** dialect.
 The **Roman** law.
 The **Russian** army.

(2) **Material Adjectives.** material noun より轉來せるものなり。

An **iron** ship.

A **gold** watch.

A **silver** plate.

A **bone** handle.

(3) **Verbal Adjectives.** Verb より轉來せるものなり。

(a) present participle より轉來せしもの。

The **setting** sun.

A **dying** man.

A **puzzling** question.

An **interesting** book.

(b) past participle より轉來せしもの。

Frozen Water.

A **worn-out** coat.

An **unexpected** news.

A **fallen** tree.

[注意] 轉來のものに對して、本性的のものを、通常、**Descriptive adjective** といふ。

169. 國名をあらはす proper noun より轉來したる proper adjective は、二たび noun に轉用して、國語若くば人民の名をあらはす proper noun となる。その場合には、その形態を變化することあり。變化せざることあり。

Proper name.	Adjective.	Language.	People.	Individual.	
				Singular.	Plural.
Japan.	Japanese.	Japanese.	The Japanese.	A Japanese.	Japanese.
America.	American.	—	The Americans.	An American.	Americans.
China.	Chinese.	Chinese.	The Chinese.	A Chinese.	Chinese.
England.	English.	English.	The English.	An Englishman.	Englishmen.
France.	French.	French.	The French.	A Frenchman.	Frenchmen.
Germany.	German.	German.	The Germans.	A German.	Germans.
Greece.	{ Grecian. Greek.	Greek.	The Greeks.	A Greek.	Greeks.
Italy.	Italian.	Italian.	The Italians.	An Italian.	Italians.
Portugal.	Portuguese.	Portuguese.	The Portuguese.	A Portuguese.	Portuguese.
Rome.	Roman.	Roman.	The Roman.	A Roman.	Romans.
Russia.	Russian.	Russian.	The Russians.	A Russian.	Russians.
Spain.	Spanish.	Spanish.	The Spaniards.	A Spaniard.	Spaniards.
Sweden.	Swedish.	Swedish.	The Swedes.	A Swede.	Swedes.
Switzerland.	Swiss.	—	The Swiss.	{ A Swiss. A Switzer.	{ Swiss. Switzers.
Turkey.	Turkish.	Turkish.	The Turks.	A Turk.	Turks.

第五節

COMPARISON.

170. Adjective は、number, gender, person, case によりて變化することなし。その文法上の形式は、たゞ **Comparison** と稱する變化一つあるのみ。而して comparison によりて變化し得べきものは、大抵の descriptive adjective と、*much, little, many, few* の四の adjective of quantity とに限る。

171. Adjective が性質若しくは分量の程度の差を示すために、その形態を變化することを名づけて **comparison** といふ。Comparison に三種あり。即ち、

(1) The **Positive Degree**. 他と比較することなく、單純なる性質を表示する形態をいふ。

A **tall** boy.

An **interesting** book.

(2) The **Comparative Degree**. 性質の程度、彼よりも此が高いことをあらはす形態をいふ。

A **taller** boy.

An **more interesting** book.

(3) The **Superative Degree**. 一の事物の性質の程度が、同類中の他のすべてよりも、高いことをあらはす形態をいふ。

The **tallest** boy.

The **most interesting** book.

これなり。

172. Positive degree は、adjective の本来の形態なり。

173. Comparative 及び Superative の形態を構成する方法は次の如し。

(1) One syllable より成る adjective 及び two syllables より成る若干の adjective は、positive の形態に、“er” を附加してその comparative degree とし、“est” を附加してその superative とす。

Positive.	comparative.	superative.
Thick.	thicker.	thickest.
Great.	greater.	greatest.
Gay.	gayer.	gayest.

Clever.	cleverer.	cleverest.
Bitter.	bitterer.	bitterest.
Narrow.	narrower.	narrowest.
Tender.	tenderer.	tenderest.
Pleasant.	pleasanter.	pleasantest.

但し、次の場合に注意すべし。

(a) Positive の adjective の語尾が、single consonant にて終り、且つ、その前に short vowel あるときは、その consonant を重ね。

Big.	bigger.	biggest.
Thin.	thinner.	thinnest.
Hot.	hotter.	hottest.
Wet.	wetter.	wettest.

(b) positive の adjective の語尾が、e にて終るときは、單に r, st を附加す。

Fine.	finer.	finest.
Noble.	nobler.	noblest.
Idle.	idler.	idlest.
Polite.	politer.	politest.

(c) positive の adjective が、y にて終り、且つその前に consonant あるときは、r を i に變へて、その後 cr, est を附加す、

Happy.	happier.	happiest.
Easy.	easier.	easiest.

Heavy.	heavier.	heaviest.
Merry.	merrier.	merriest.

(2) Two syllables よりなる多くの adjective と、three syllables 以上より成るすべての adjective とは、その positive の形態の前に、**more, most** を添へて、その comparative と superative とを作る。

Useful.	more useful.	most useful.
Famous.	more famous.	most famous.
Skilful.	more skilful.	most skilful.
Difficult.	more difficult.	most difficult.
Interesting.	more interesting.	most interesting.

174. adjective の或るものは、不規則なる方法によりて、その comparative degree と superative degree とを作るものあり。

Bad.	}	worse.	worst.
Ill.			
Evil.			
Good.	}	better.	best.
Well.			
Many.	}	more.	most.
Much.			
Little.		less.	least.

Fore.	former.	formost, first.
Hind.	hinder.	hindmost.
Late.	{ later, latter.	{ latest, last.
Far (forth).	{ farther, further.	{ farthest, furthest.
Old.	older, elder.	oldest, eldest.

[注意第一] “Good,” “Well.” well は、adjective としては健康の上に関するのみこれを用ひ、常に complement とし用ふ。故に、better, best を見ば、good の變化なるか、well の變化なるかを區別するを要す。

[注意第二] “Later,” “Latest,” “Latter,” “Last.” later, latest は時をいふに用ひ、latter, last は順序をいふに用ふ。

One's **later** days. The **latest** fashion.
In the **latter** days. The **last** effect.

[注意第三] “Farther,” “Farthest,” “Further,” “Furthest.” farther, farthest は距離に就きて用ひ。further, furthest は稀に距離に就きて用ふることもあれど、通常「これ以上の」「至上の」といふ意味に用ふ。

Osaka is **farther** from Tokyo than Kyoto is.

If you go a little **farther** (or **further**) up, you will have a better views.

We have a **further** reason for saying so.
He explored the **furthest** region of human knowledge.

[注意第四] “Older,” “Oldest,” “Elder,” “Eldest”
older, oldest は、年齢若くは時期に就きて云ひ、elder, eldest は、son, brother, daughter, sister の如き noun に伴ひて、骨肉上の関係をあらはすに用ふ。

My **elder** brother is three years **older** than I.

The **eldest** of the three brothers.
He is the **oldest** son of my surviving sons.
The **oldest** building.

175. 二の事物の性質を比較して、一の事物が他のものより、その性質の度の優れたることをあらはすには、comparative degree の adjective を用ふ。通常、その次には、“than” を伴ふものとす。

Iron is a **more useful metal than** gold.
Knowledge is **better than** riches.

若し、Comparative の次に、“of the two” を用ひて、これと同様の意義をいひあらはすときは、その前に the を附す。

Iron is **the** more useful metal *of the two*.
Knowledge is **the** better *of the two*.

176. 三個以上の同種類の事物の性質を比較して、一の事物が、他の總べてのものより、最も優れたることを

あらはすには、Superative degree の adjective を用ふ。その前には、必ず the を附するを要す。

Mt. Fuji is **the highest mountain** in Japan.
Iron is **the most useful** metal of all metals.

若し、これ等の文の構造を變ずれば、Comparative の形式を用ひて、同一の意義をいひあらはすを得べし。この場合には、一の事物を他の總べての事物と、個々別々に、比較する體裁となるなり。

Mt. Fuji is **higher than any other mountain** in Japan.

Iron is **more useful than any other metal**.

[注意] 上の構造に於ては、“other” を決して脱すべからず。若しこれを脱すれば、その文は不完備なる文となり了るべし。

例へば、

Mt. Fuji is higher than any mountain in Japan.

と云はゞ、この文の中には、富士山は富士山よりも高しといふ意味を含むことゝなるが故に、不合理の文になるを免れざるべければなり。

177. Comparative, superative の adjective のあらはす意義に關して、更に程度の多少を表示するには、その前に much, a little, far (by far), somewhat, a great deal 等の adverb を附す。

This book is **much** more difficult than the one you are reading.

English is **a little** easier than German.

English is **far** more useful than any other language.

The peony is **by far** the prettiest of all Japanese flowers.

He is **somewhat** taller than I.

He is **a great deal** taller than I.

178. 程度の次第に進捗するをあらはすには、“**more and more**”の形式を用ふ。

He fell ill yesterday; and is getting **worse and worse**.

The voice became **fainter and fainter**.

179. 程度の下降する比較をあらはす comparison には、more, most の代りに **less, least** を用ふ。

Kind. **less kind.** **least kind.**

Pretty. **less pretty.** **least pretty.**

Famous. **less famous.** **least famous.**

She is **less beautiful** than her elder sister.

She is **the least beautiful** of all her sisters.

180. Superative を程度の比較に用ひずして、甚だ優れたる意味をあらはすべく用ふことあり。この場合には、常に“**Most + positive form**”を用ふ。この前に

は、a (or an) を附することあり。附せざることあり。これを **Absolute Superative** といふ。

He is **a most diligent** student.

He is **a most brave** soldier.

These are **most interesting** stories.

181. ある adjective は、絶對至高の意義を有するが故に、comparison によりて、これを變化する餘地なきものあり。例へば、dead, empty, round, perfect, supreme, infinite, universal 等の如し。かくの如き adjective を **Incomparable** といふ。然れども、まゝこれ等の adjective に對しても、comparison を適用するものあれども、注意してこれを避くべきなり。若し、強て變化せしめんとならば、**more nearly perfect, the most nearly supreme** など云はんより、他に方法あらざるべし。

182. Superior, inferior, anterior, posterior, prior の如き、羅匈語より轉來せし少數の Comparative adjective は、than の代りに **to** を用ふ。

He is **superior to** me in skill.

My strength is **inferior to** yours.

This events is **anterior** (=earlier than) **to** the Revolution.

第六節

USES OF ADJECTIVES.

183. Adjective には二様の用方あり。

(1) **Attributive use.**

(2) **Predicative use.**

これなり。

184. **Attributive use.** 直に noun に係屬して、その適用を限定する用方を **attributive use** といふ。これ adjective の本來の用法なり。

A **good** man.

A **decisive** victory.

185. **attributive** に用ひたる adjective は、一般に、これを noun の 前に附すれども、次の如き場合には、これを noun の次に置く。

(a) adjective が、副詞的成句の添加によりて、擴大せられたる場合。

{ A **heavy** loss.

{ A loss *too* **heavy** to be borne.

A trick *more than usually* **naughty**.

A man *more* **brave** than wise.

A woman *neither young nor good* **looking**.

A temper *not naturally* **good**.

A boy *five years* **old**.

(b) 語勢を強くするために。

All writers **ancient** and **modern**.

All things **animate** and **inanimate**.

(c) anything, something, nothing, の如き pronoun に係屬する場合。

Anything **nice**.

Something **good**.

Nothing **amusing**.

186. **Predicative use.** Adjective は、incomplete verb の subjective complement 又は objective complement に用ひられて、間接に、noun 又は pronoun に係屬することあり。noun のかく用ひらるることを、**predicative use** といふ。

(a) Subjective complement として。

He is **wise** and **good**.

It is getting **dark**.

He looks **pale**.

Honey tastes **sweet**.

(b) Objective complement として。

I thought him **honest**.

You will find it **easy**.

The judge declared the prisoner **guilty**.

He made her **happy**.

187. 二個以上の異なる種類の adjective が、noun に

係属するときは、その順序は、*pronominal adjective*, *adjective of quantity*, *adjective of quality* なるべし。若し、同種類の二個以上の *adjective* が *noun* に係属するときは、それ等の間に、*comma* 又は *and* を挿入す。

Those three little boys.

These young students.

Two old gentlemen.

A complete and decisive victory.

An easy, interesting book.

The blind and lame man.

第五章

THE ARTICLES.

第壹節

CLASSES OF ARTICLES.

188. Article は、本来 *adjective* の一種なり。されど、その職能とその意義と、甚だ煩鎖にして、大に注意を要すべきものなれば、通常これを別種の *Part of Speech* として、*adjective* より區別せり。

189. Article には、たゞ二個の語あるのみ。一は “a (or an)” にして、一は “The” これなり。

190. “A (or an)” を *Indefinite Article* と云ふ。例へば、a man, a book と云へば、この人、その書物といふが如くに、特殊の人若くは物を指示するの謂にあらず。noun によりて表示せらるゝ事物の種類の如何なるものなるかを表はすのみにして、その種類に属する事物の何れの個體を撰り出づるも全く自由なれば、これを *indefinite article* と名づく。

191. “The” を *Definite Article* といふ。あの人、この物と云ふが如くに、特殊の事物を取り出でて、正確にこれを指示する意あればなり。例へば、the man, the

book と云へば、ある特殊の人、若くは書物を指示して
いひ表はす意なり。

192. A (or an) は、本来 numeral adjective なる "one" の
變體にして、一つといふ意味を含めり。されど、これ
を one と比すれば、その意味に、自ら多少の相異あり
とす。

(a) Bring me a pencil.

(b) Bring me one pencil.

この二つを比較するに、(a) に於ては、pencil に重み
を付けて云ひ、(b) に於ては、one に重みを付けて云ふ
ものなり。故に、(a) に於ては、要求せらるゝは pencil
にして、book にても、pen にても、paper にてもなき
意をあらはし、(b) に於ては、一本の pencil が要求せら
るれども、二本三本乃至五六本の pencil は、要求せら
れざる意をあらはせるものなり。

193. A (or an) には、かく「一つ」といふ意あれば、
indefinite article は、常に Singular number の符號とし
て用ひられ、一つ二つ三つと數へ得べき事物の名にし
て、plural form を有する noun 即ち、singular common
noun (collective noun をも含む) にのみ、これを附するも
のとす。故に、

(a) Singular Common noun は、the 若くは article と
同一の用をなす語を附する場合を除くの外には、必ず、
plural form を有することを表示するために、その前に
indefinite article を附するを要す。

(b) Proper noun は、一人一物に限る名なれば、com-
mon noun に用ひられたる外には、plural の form を有
せざるが故に、indefinite article を附することなし。

(c) Material noun は、量にて計ることを得れども、一
つ二つと數ふること能はざれば、この noun も plural
form を有せざるが故に、indefinite article を附すること
なし。

(d) Abstract noun は、一つ二つと數へ得べからざる
性質動作の名なれば、この noun も plural form を有せ
ざるが故に、indefinite article を附することなし。
と斷定し得べし。但し、proper, material, abstract noun
も common noun として用ひられたるときは、すべて、
common noun に通用する規定に従ふ。

194. 要するに、article は皆符號語なり。殊に in-
definite article に於て然りとす。これらの語は、何れも
個體を撰り出づるものなるが中にも、a (or an) は、noun
が plural form を有することを知らしむる符號語なり。
common noun のみ、plural form を有するが故に、article
は、常に singular common noun の前に附せられ、article
の有無は、直に noun が common noun なるか、將た他
の種類 noun なるかを區別する特徴となる。

Proper, material, abstract noun は、皆 plural form を
有せざる noun なれば、ある noun が plural form を有
すといふことは、この noun が common noun なりと斷
するに、十分なる特徴なりと云ふべく、the を附せざる

plural noun は、正確に指示していひあらはされざる、common noun の plural form と断定し得べきなり。例へば、*men* は、*man* の plural にあらずして、*a man* の plural に相應するが如し。

195. 通常 “*a*” は consonant の前に用ひ、“*an*” は vowel の前に用ふ。例へば、

A dog, a man, a knife, a house.

An inkstand, an apple, an idle boy.

されど、consonant の “*h*” にて始まれる語にても、その “*h*” が silent なるときは *an* を附す。

An hour, an heir, an honest man.

また、vowel にて始まれる語にても、consonant sound に發音せらるゝ vowel の前には、*a* を附す。

A useful metal, such a one, a union, a unit.

196. “*The*” は、definite demonstrative adjective “*that*” の變體にして、語意 “*that*” よりも弱し。例へば、

Lend me **that** book.

と云ふ文は、現に眼の前にある書物を指にて示しつゝいふに用ふ。されど、指にてこれを示さずとも、若くは何かの障害ありて指し示すこと能はずとも、正しくかの書物を指示せるなりと云ふこと、聞く人に明なるときは、

Lend me **the** book.

と云ふべきが如し。

第 貳 節

USES OF ARTICLES.

The Definite Article.

197. *The* は特殊の事物を指示する意なれば、そのものを指さずして、心の中にて暗にこれを指し、聞くものの方にて、noun のあらはす事物は、あの人あの物を指示して云へるなりと云ふことを會得し得べしと見做し得る場合には、常に “*The*” を附す。

聞くものの方にて、あの人、この物を指示して云へりと合點し得べしと見做し得べき場合、三あり。

(1) 既に前に云ひあらはされたる事物を noun が再び表示する場合。

(2) 初めて名指されたる noun にても、意義を制限する語句の添加せしため、noun のあらはす事物が、特殊の人、又は物を指示する場合。

(3) noun のあらはす事物が、日常の談話にては、特殊の事物を表示するものと定れる場合。

198. 既に前にあらはされたる事物を noun が表示する場合。この場合には “*the*” を附したる noun は、畢竟 pronoun を用ひたると、その意相同じ。

One day a cat met a fox in a wood. **The** fox asked her, “Have you any stratagems for escaping from an enemy?” “No, I

have no ability in that way," she answered. "Is that so?" he said, laughing scornfully, "you are indeed stupid." **The cat** made no reply, but went up a tree in haste, for just then a hound came up. **The fox** tried to escape by running to and fro, but at last he was caught and killed.

上の文に於て、二つの動物が始めて説述せらるゝときには、a cat, a fox とあれど、次には、the cat, the fox と "the" を附したり。これ、the cat, the fox は、已に前に云ひあらはされたる二つの動物を指示して云へること明かなればなり。こゝにては、the cat は *she* を、the fox は *he* を用ひたると同じ。

199. 意義を制限する語句の添加せしため、noun のあらはす事物が、特殊の人、又は物を表示する場合。始めて記述せられたる noun にても、その前後に、その語の適用を限定する語句あるがために、特殊の人、又は物を表示することあり。この場合には、noun の前に "the" を附す。

The highest mountain in Japan.

The school I attend.

The city of London.

The second house to ours.

The greatest statesman in his time.

The house in which we live.

The man whom I met at my uncle's.

時としては、かくの如き意義を制限する語句が省略せらるゝことあり。吾人が若し **The Emperor** と云はんには、そは "**The present emperor of Japan.**" と云ふべきを省略したるものなり。"I have been to see him off at **the station.**" と云ふときは、the station は、その市内なる station か、若くは最近の station なることを示せるものなり。

"The" のこの用方は、何れの種類の noun にも適用し得べし。例へば、

The water of this well.

The wood for the box.

The progress of my pupils.

The truth of these statements.

の如し。

[注意] noun のあらはす事物が、その前後に添加したる語句によりても、一人一物を指示するものと定らざることあり。この場合には、"the" を附するを得ず。次の二の文を比較せよ。

(a) **The capital of Japan.**

(b) **A city in Japan.**

(a) に於ては、日本の capital は唯一つなるが故に、capital of Japan と云へば、一の場所に定るべし。故に、これに "the" を附すべきなり、然るに、(b) にては、日

本の都會は多數あるが故に、city in Japan とのみにては、一の場所に限ることなし。故に、“the” を附する能はざれば、“a” を附するを要す。若し、これを、

(c) **The largest city in Japan.**

とすれば、largest city は唯一ならざるべからざる理なれば、一の場所に定るべし。故に、この文にては、“the” を附せざるべからざるなり。

200. noun のあらはす事物が、日常の談話にては、一事一物と定れる場合。ある noun は、本来特殊の事物を云ひあらはすものと定れるにはあらざれど、日常の談話にては、慣用上單獨の一事一物を表示するものと定れるものあり。例へば、**the world, the sun, the moon** の如し。宇宙には、多數の world, sun, moon あれども、日常の談話にて、sun, world, moon と云へば、これらの語は、それぞれに、The world in which we live, the sun of our solar system, the moon belonging to our earth の意味なることに定り居るなり。故に、その前には、常に“the” を附す。次の noun は、普通の意味に用ふるときは、常に“the” を附すべし。

**The world, the earth, the sun, the moon,
the universe.**

The sea, the ocean.

The sky, the air.

**The south, the north, the east, the west,
the south-east.**

The north-west.

The right, the left.

The country.

201. “the” には、特殊の用方多し。

Singular common noun に“the” を附して、その種類全體を指示することあり。これは、その一物を取りて、その種類の全體の代表とする意味なり。通常、この形式は、事物の特性を云ひあらはす場合に最も多く用ふ。

The lion is called the king of beasts.

**The student should always be obedient
and attentive.**

The bamboo is a kind of grass.

**The owl cannot see in the light as in the
dark.**

**When taken young, the tiger can be
tamed.**

[注意第一] かく用ひたる“the” は、他の形式を用ひて、同じ意味をあらはすことを得べし。

(a) Singular common noun に“a” を附すれば、その種類の全體を表示するに等し。

A child likes pictures.

A dog is a faithful animal.

(b) plural common noun に article を附せずして用ふれば、その種類全體を指示するに等し。

Children like pictures.

Dogs are faithful animals.

これ等の形式は、皆その種類の全體をあらはすものにはあれど、その種類の特性に就きて云はんとするには、“the + singular common noun.” の形式を用ふるをよしとす。

[注意第二] man と woman とは、この意味に用ふるときは、常に the を附せず。

Man is mortal.

Man is stronger than **woman**.

Man to command and **woman** to obey.

202. Concrete noun を抽象的意義に用ふるときは、また “the” を附すべし。この場合には、noun は、種類の名若くは一物一物の名にあらずして、その種類に特殊なる性質若くは作用の名となる。例へば、

The pen (=literary influence) has more influence than **the sword** (=military power).

He has something of **the gentleman** (=gentlemanlike quality) about him.

Whenever he saw men in such a condition, Philip was sure to forget **the prince** in **the man** and do his best to alleviate their misery.

の如し。

次に掲ぐるものは、普通に用ひらるゝものなり。

The father. (=paternal feeling).

The mother. (=maternal feeling).

The hero. (=heroic quality).

The patriot. (=patriotic feeling).

The man. (=human sympathy).

The eye. (=the faculty of sight).

The grave. (=death).

The field. (=battle, action).

The press. (=printing, publication).

The letter. (=literal meaning).

203. preposition “**By**” と相連なりて、これと標準を云ひあらはす Phrase を形成する noun の前には、“the” を附することあり。

These handkerchiefs are sold *by the dozen*.

You must go out to work *by the day*.

They were hired *by the month*.

This cloth is sold *by the yard*.

204. 次の Phrase には、常に “the” を附す。

In **the morning**; in **the evening**; in **the afternoon**; in **the day-time**; in **the light**; in **the dark**; in **the cold**; in **the wet**.

但し at night, at evening, by day, by night には the を附せず。

月の名週の名は Proper noun ならば “the” を附することなし。

205. Plural common noun には、“the” を附するを要せず。されど、若し Plural common noun が、特殊の事物を云ひあらはし、且つ、集合體として、それ等の全稱に用ひられたるときは、常に “the” を附す。次の二の文を比較して、その意義の相違に注意すべし。

They are **the** teachers of our school.

(=they are all the teachers of our school).

They are teachers of our school.

The Japanese, **The** English, **The** French など、國民の名に “the” を附し、**the** family, **the** people など、noun of multitude に “the” を附するも、この理による。

206. Proper noun は、特殊の個體に附したる名ならば、“the” を附せざるを定則とす。されど、次の如き場合には、これに “the” を附するを要す。

(a) 河川, 海洋, 灣, 海峡の名。

The Thames, **the** Danube, **the** River Sumida.

The Pacific, **the** Japan Sea, **the** North Sea.

The Mexican Gulf, **the** Bay of Biscay.

The Hellespont, **the** Strait of Gibraltar.

(b) 市街道路の名。

The Ginza, **The** Tokaido, **The** Nakasendo.

(c) 船舶の名。

The Fuji, **The** Mikasa, **The** Tango-maru,
The Hakuai-maru.

(d) 公共の建築物會館等の名。

The Higher School, **The** Grand Hotel, **The** Red Cross Society, **The** Home Department.

(e) 書籍新聞雜誌等の名。

The Japan Times, **The** Taiyo, **The** Arabian Night, **The** Nihon-Gwaishi, **The** Genji-monogatari.

但し、著者の名を冠する書籍の名には附せず。

Robinson Crusoe is my favourite book.
I have read **Shakespear**.

(f) 若干の plural name には “the” を附す。

The Japanese, **The** English. (人民の名)

The Rothschilds, **The** Tokugawas. (家族の名)

The Christians, **The** Puritans. (宗派の名)

The Tories, **The** Conservatives. (黨派の名)

The East Indies, **The** Philippines. (群島の名)

The United States, **The** Netherlands. (國の名)

The Alps, **The** Pyrenese. (山脈の名)

[注意] Mount Fuji, Mount Vesuvius など、孤山の名には “the” を附せず。

207. Proper name の稱號は、通常 article を要せざるも、英國史に知れ渡らざるものには、“the” を附す。

The Emperor Napoleon.

The Czar Alexander.

The Taiko Hideyoshi.

King, Queen, Duke 等の普通なる稱號は、“of” を伴ふときのみ、“the” を附す。

King Alfred; **the** King *of* England.

Queen Victoria; **the** Queen *of* England.

208. adjective を附したる人の名には、“the” を附す。

The famous Napoleon; **the far-sighted** Iyeyasu;

The ambitious Cæsar; **the great** Mr. Edison;

The elder Brutus.

但し、*old, young, little, poor* 等の adjective の前には、これを附せず。

Poor little Ben is very ill.

I suppose you stopped to help **old** Stevenson.

Bold Robin Hood.

209. 國語の名は “the” を附するを要せざれども、*language* といふ語を伴ふときは、常に “the” を附す。

Japanese or **the** Japanese *language*.

English or **the** English *language*.

French or **the** French *language*.

若し、ある特殊の國語をいひあらはすべく用ひたるときは、“the” を附するを要す。

“Bamboo” is **the** English for **the** Japanese “Take.”

What is **the** German for “Sakura”?

210. Adjective が獨立して、Collective noun の如き意義に用ひられたるときは、“the” を附す。

The rich (=all rich people) envy the happiness of **the poor** (=all poor people).

It is astonishing how much may be accomplished in self-culture by **the energetic** and **the persevering**.

The learned are apt to despise **the ignorant**.

211. Adjective が abstract noun の如くに用ひられたるときにも、その前に “the” を附す。

He had an intense love for **the beautiful** (=for beauty) and **the sublime** (=for sublimity).

All the motions of his nature were towards **the true, the natural, the sweet, the gentle**.

The good (=for goodness).

212. Superlative degree の adjective には、常に “the” を附す。comparative degree の adjective も、“of the two” の phrase を伴ふときは、これに “the” を附すべし。

Mount Fuji is **the highest** mountain in Japan.

Iron is **the more** useful metal *of the two*.

Ordinal の前にも、常に “the” を附す。

The 29th of Meiji.

The fifth Reader.

THE INDEFINITE ARTICLE.

213. Singular common noun にして、“the” を附するの必要なときには、必ず、これに “a (or an)” を附せざるべからざることは、已にこれを述べたり。例へば、

I have **an** interesting book.

Japan is **an** island country.

I want to buy **a** watch and **a** ring.

の如し。

214. “A (or an)” を Singular common noun に附すときは、不定に限られたる一事一物をあらはす。この場合には、“a (or an)” の意味は、one のと同じく、これに相當する plural form は、“some” を附したる plural noun とす。

I want **a** pencil.

(I want **some** pencils.)

There is **a** boy at the door.

(There are **some** boys at the door.)

[注意第一] “A (or an)” は、one と全くその意味を同くするものにあらざることは、已にこれを前述せしが如くなれども、まゝ one の代りに、“A (or an)” を用ふることあり。例へば、

A bird in the hand is worth two in the bush.

One thing at **a** time.

A day or two.

A thousand.

A hundred.

[注意第二] “there is” “I have” の次に來りて、存在を否定する “not a” は、常に一語となり、“No” となる。

There is **no** Englishman in our school.

There was **no** man at the door.

Have you **a** father? No, *I have* **no** father.

215. “A (or an)” を Singular common noun に附すときは、その種類の個體の「何れか一つ」といふ意味をあらはし、従つて、種類の名となる。この場合には “a (or an)” の意味は、“Any” のと同じく、“a + singular noun” は article を附せざる plural form と、そのあらはす意味相同じ。

A **child** likes pictures.

=Any child likes pictures.

=Children like pictures.

A **dog** is a faithful animal.

A **bad workman** quarrels with his tools.

216. Indefinite article にも、特別なる用法あり。

(a) “A (or an)” を “*a, certain*” の意味に用ふることあり。

Don't you happen to know **a** Mr. Yamato?

Her music teacher is **a** Miss Miyoshino.

He is **a** Takada.

(b) “A (or an)” を “*per*” の意味に用ふることあり。

This cloth costs two yen **a** yard.

The meeting is held twice **a** month.

Six miles **an** hour.

Three times **a** week.

Six pence **a** glass.

217. 國民、宗派、家族等の個人をあらはす proper name には、“a (or an)” を附す。

A Japanese, **an** Englishman.

A Buddhist, **a** Mohammedan.

His father is **a** Taira and his mother **a** Fujiwara.

He is **a** Christian from policy.

218. indefinite article は、adjective と相伴ふときは、常に先んずるを定則とすれども、若し、語勢を強くする adjective と相伴ふときは、一般に、これを直に noun の前に附す。

What a pity!

What a man he is!

I never knew *such a* man.

It was a very low fire indeed in **such a** bitter night.

He was *as honest a* man as ever breathed.

He is *too good a* boy to tell a lie.

Readers will be able to imagine *how pretty a* quarrel there would thus be between the landlord and his tenants.

The knight did bear *no less a* pack.

第 参 節

OMISSION OF THE ARTICLE.

219. Possessive case の noun, pronoun 及び demonstrative adjective は、article と同一なる職能をなすものなれば、これ等の語に伴ひたる noun の前には、article を附するを要せず。

This is *my book*.
 That book is mine.
 No man will do it.
 Each student has his own desk.
 These are *my father's books*.

220. 次に擧ぐる場合には、通常 article を省略す。

(a) nominative of address の noun の前には、常に article を省略す。

Come, **fellows**, let us run a race.
Young man, ahoy! The rapids are below you.

(b) apposition に用ひたる稱號、及び家系をあらはす noun の前には、article を省略す。

Masatsura, **son** of Masashige, fell at Shijonawate.
 Victoria, **Queen** of Great Britain and **Empress** of India.
 Yoshitsune, **brother** of Yoritomo.

(c) Complement に用ひたる稱號、及び家系をあらはす noun の前には、article を省略す。

He is **professor** of Mathematics in the Tokyo Imperial University.
 Arthur was **nephew** to the king.

Queen Elizabeth was **daughter** of king Henry VIII.

They elected him **president**.

They made him **ruler** of the Queen's navy.

Washington was twice elected **president**.

(d) "as" の次に來る官職、又は地位をあらはす noun の前には、article を省略す。

He was appointed as **Governor** of Tokyo-fu.
 I have come as **interpreter**.

(e) 自己の家族をあらはす noun の前には、article を省略す。

Father came home late last night; **mother** was quite worried over his long absence.
Cousin came yesterday and left a book for you.

(f) noun を現實のものを表はすものとして用ひずして、單に、語又は稱號として用ふるときは、article を省略す。

"**Bamboo**" is the English for "**Take**."

How do you spell "**students**"?

"**Count**" is too insignificant a title for his merits.

"**And**" is a conjunction.

(g) “a kind of,” “a sort of,” “a species of” の次に來る noun の前には、通常 article を省略す。但し、疑問若くは感嘆をあらはす文にては、省略することなし。

What sort of a man is his brother?

His brother is quite *a different sort of man*.

What a strange kind of a beast the whale is!

The whale is *a kind of beast*.

221. School, church, market, hospital, prison, home, bed, table 等の noun を、それ等の本來の目的の意味に用ふるときは、通常 article を省略す。

School begins at seven o'clock.

He is sent **to prison** for some offence.

I generally *go to church* on Sunday.

The injured man was *sent to hospital*.

The child behaves well **at table**.

My mother has gone **to market** to buy something.

その外、phrase に用ひられて、抽象的意義若くは副詞的意義をあらはす noun には、その前に article を省略す。

We went **on foot** and came **by train**.

Many ships lay **at anchor**.

Your letter is just **to hand**.

The ship **cast anchor** at night, and **set sail** before sunrise.

The king resolved **to give battle** to his enemy.

222. 二個の noun が、その意義に於て、相互に關係するときは、article を省略す。

Doctor and patient were equally astonished.

Pursuer and pursued shot to the brink of the falls.

Husband and wife went out arm in arm.

Hill and valley rang with the sound of the huntsman's horn.

The progress of agriculture was much impeded by the frequent disputes between **landlord and tenants**.

He must be either **sage or idiot**; not a common mortal.

223. 二個の noun が、Preposition によりて連續せられて、adverbial phrase を形成するときは、その前に article を省略す。

They went out **arm in arm**.

The bee flies **from flower to flower**.

Night after night he dreamed the same thing.

I was covered with dust **from head to foot**.

He was walking **book in hand**.

224. 二個若くは二個以上の noun が、“and”によりて連続せられて、一人の人をいひあらはすときは、最初の noun のみに article を附す。これに反して、若し個個人をいひあらはすときは、それぞれに、article を繰り返へさざるべからず。例へば、“a poet and historian”は一人の人に關していひあらはせども、“a poet and an historian”は二人の人に關していひあらはせるが如し。故に、

Scott was **a poet and novelist**.

He is **a scholar and statesman**.

は、一人に就きて云へるなり。されど、別異の人に就きては、article を繰り返すべきが定則なるも、若し文意の曖昧を生ずる恐れなきときは、簡潔のために、これを繰り返さざることあり。

I met **a lady and gentleman**.

The errors which in a few months, alienated **a loyal gentry and priesthood** from the House of Stuart.

第六章

THE VERB.

第壹節

CLASSES OF VERBS.

225. Subject につきて、ある事柄を叙述するために用ふる語を verb といふことは、已に前にこれを述べたり。故に、verb は predicate の必須的の成分なりといふを得べし。

(a) The sun **shines** bright.

(b) Milton **wrote** “Paradise Lost.”

(c) I **shall learn** the result in a few days.

(d) He **has been studying** English for over four years.

(e) He **must have arrived** to Kyoto already.

Verb が、subject につきて、ある事柄を叙述するにも、例題 (a), (b) の如く、一語なることあり。(c) の如く、二語より成ることあり。(d), (e) の如く、二語以上より成ることあり。而して、(c), (d), (e) に於て、まさしく動作をいひ表はせるは、最後の語にして、その前なるは、この語を助けて、これに種々なる意趣をあらはさしむる

用をなすものなり。かく、subject につきて、動作状態を説述する主要なる語を **Principal Verb** といひ、これを助けて、その意味を定むるものを **Auxiliary Verb** といふ。

226. 通常、Verb を分ちて二種とす。

- (1) **Transitive Verbs.**
- (2) **Intransitive Verbs.**

これなり。

227. (a) John **hit** the ball.
 (b) I **have lost** my pencil.
 (c) He **gave** me a book.

例題 (a) に於て、hit のいひあはす動作を受くるものは何ぞ。(b) に於て、have lost の云ひあはす動作を受くるものは何ぞ。(c) に於て、gave の云ひあはす動作を受くるものは何ぞ。(a) に於ては、ball にして、(b) に於ては pencil なり。而して (c) に於ては、me と book となり。かくの如き語を Verb の **object** といふことは、前にこれを述べたるが如し。かく、Verb の次にその object の來るものを **Transitive Verb** といふ。故に、Transitive verb のいひあはす動作は、直接に作動者に關係するのみならず、常に他の事物に關係し、その次に動作を受くる事物をあらはす語を要するものなり。

228. (a) The wind **blows**.
 (b) The dog **runs**.
 (c) The artist **paints**.

上の例題 (a) に於て、blow のあらはす動作を受くるものは何ぞ。(b), (c) に於て、run, paint のあらはす動作を受くるものは何ぞ。これ等の Verb のあらはす動作は、直接に作動者に關係するのみにして、他の事物と直接に何等の關係を有せざるものなり。かくの如き verb は、常にその次に object を要せずして、完全に subject の動作若くは状態を説述す。かく verb の次に object の來らざるものを **Intransitive Verb** といふ。

229. 總べての verb は、通常 Transitive と Intransitive との二種に區別せらる。されど、その中には、同一の形態にて、一方にては Transitive verb となり、一方にては Intransitive verb となるものあり。例へば、

- { Glass **breaks** easily.
- { The boy **breaks** the glass.
- { The wind **blows**.
- { The wind **blows** the smoke.
- { Honey **tastes** sweet.
- { The bee **tastes** honey.
- { He **has just returned**.
- { He **has returned** the book.

の如し。

230. 通常 Intransitive verb たる語にして、object を要せざるものが、時として、その次にその云ひあはす意義と、同一の意義を云ひあはせる object を有することあり。かくの如き object を **Cognate object** とい

ひ、かくの如き intransitive verb を、transitive に用ひられたりといふ。

He **lived** a useful life.

The artist **paints** a picture.

I **dreamed** a pleasant dream.

They **shouted** applause.

231. 通常 intransitive verb なるべき語にして、その次に出づる preposition と相連りて、一種の phrase verb となりて、transitive の用をなすことあり。これを **Prepositional verb** といふ。

They **laughed at** me.

You **must consult with** your friends.

He **waited on** us at table.

A dog **barked at** me.

232. Transitive は、通常一個の object を有すれども、その中には、二個の object を有するものあり。第一の object を **Direct object** といひ、第二の object を **Indirect object** といふ。例へば、

I *will lend* you the book.

We will *forgive* him his fault.

He *has done* me many kindnesses.

に於て、book, fault, kindnesses は、direct object にして、you, him, me は indirect object なり。この場合には、通常、direct object は物名をあらはし、indirect object は人名を云ひあらはすものとす。

233. direct object は、通常 indirect object に先んずれども、なほ indirect object の次にこれを置くことを得べし。

I wrote **him** a letter.

(I wrote a letter to him.)

He gave the **boy** a picture.

(he gave a picture to the boy.)

He asked **me** a question.

(he asked a question of me.)

若し direct object が noun にして、indirect object が pronoun なるときは、indirect object が常に direct object に先んずべし。

I gave it to the man.

若し direct object が pronoun にして、direct object も pronoun の "it" なるときは、indirect object は、常に direct object に先んずべし。

I gave **it** him.

(I gave it to him.)

He has told **it** me.

(he has told it to me.)

234. ある transitive verb は、その object として reflexive pronoun を有することあり。この場合には、その verb を **Reflexive Verb** といひ、その object を **Reflexive object** といふ。

He **prides himself** on his learning.
 She **dressed herself** in white.
 In doing so, you **are ruining yourself**.
 We **must help ourselves**.

235. Verb が predicate に用ひられて、ある事柄を説述するにあたりて、Complement と稱する語を要するものと、要せざるものとあることは、前にこれを述べたり。この方面より、verb を區別すれば、verb は、

- (1) Complete Verbs.
- (2) Incomplete Verbs.

となる。

236. Verb が他の語を補充することを要せずして、言ひ換ふれば、Complement を要せずして、predicate として完全に何物かを説述するものを Complete verb といふ。

(a) Complete intransitive :—

The sun **shines**.

The dog **runs**.

Some birds **sing** sweetly.

(b) Complete transitive :—

Some one **opened** the door.

Fire **burns** wood.

They **gave** the boy a prize.

237. Verb が他の語を補充することなくしては、言ひ換

ふれば、Complement を用ふるにあらずば、predicate として完全に何事をも説述すること能はざるときは、これを incomplete verb といふ。この場合には、incomplete intransitive を補充する complement は、subjective complement にして、incomplete transitive を補充する complement は、objective complement なり。

(a) Incomplete intransitive :—

He is a good student.

He has become famous.

He continued silent.

How sweet the blossoms smell!

He looks a strong man.

The days are getting longer.

(b) Incomplete transitive :—

He keeps nothing secret from me.

Don't leave the door open.

They elected him president.

He left me her guardian.

He has gone to get the dinner ready.

The great desire of his heart was to leave his country better and happier than he found.

238. Auxiliary verb は、principal verb を助けて、それのみにては、完全に構成すること能はざる Tense

Mood 等の文法上の種々の形式を、完全に構成せしむる verb の一種なり。例へば、

Be, do, shall, will, may, can, must 等は皆 auxiliary verb なり。これ等の語の變化に就ては、verb の文法上の形式を説明する場合に、共に説明すべきも、今その主なる用方に従ひて、これ等の語を類別すれば次の如し。

(a) Tense の構成を助くる auxiliary verb.

“Shall,” “will,” “have,” “be.”

(b) Passive voice の構成を助くる auxiliary verb.

“Be.”

(c) Potential Mood の構成を助くる auxiliary verb.

“Can,” “may,” “must.”

(d) Interrogative, Negative, Emphatic Form を構成する auxiliary verb.

“Do.”

第 貳 節

PRINCIPAL PARTS OF VERBS.

239. Verb は、subject に就きてある事柄を説述する語なり。而して、verb が predicate となりて、種々の意趣を叙述するために用ひらるゝ形式五つあり。Voice, Tense, Mood, Person, Number これなり。verb がこ

の五の關係をいひあらはすために、變化することを **Inflection of verbs** といふ。

Inflection of Verbs は、通常五種ありと稱すれども、眞の文法上の變化は極めて少し。多くは auxiliary verb の補助による。

240. Verb に單純の形態三つあり。これを **principal parts of verbs** と云ふ。verb が文法上の形式を構成する一切の形態は、皆これを語基とするが故に、verb の inflection を説くに先ちて、先づこれを説明し、併せて、その Auxiliary verb と連結する方法を述ぶべし。

241. **Root.** verb の本來の最も簡單なる形態を root といふ。to learn, to write, to see の如き verb の形態を **Infinitive** といひ、これより “to” を除きたる形態を **Root infinitive** または **Root** と云ふなり。その主なる用法三あり。

(1) Root (‘Be’ を除く) は、直に indicative mood の present tense に用ふ。

(2) Auxiliary “will,” “shall” と連結すれば、future tense となり、“do” と連結すれば、疑問又は否定の形態となり、“can,” “may,” “must” と連結すれば、potential mood の形態となる。

(3) “ing” を語尾に附着すれば、present participle の形態となる。

242. **Past Tense.** 常に auxiliary verb と連結することなく、そのまゝにて、indicative mood の past tense の形態となる。

243. **Past Participle.** その主なる用法二つあり。

(1) "have" と連続し、perfect tense の形態となる。

(2) "be" と連続し、passive voice の形態となる。

244. Past tense 及び past participle は、root よりこれを作る。その方法に二様あり。

(1) **Regular verb.** root に "ed" を附して、その past tense と past participle とを作るもの。

(2) **Irregular verb.** 他の方法によりて、不規則に root より past tense と participle とを作るもの。

245. Regular verb は、root に "ed" を附加して、その past tense と past participle とを構成す。例へば、

Root.	Past tense.	Past participle.
look.	looked.	looked.
learn.	learned.	learned.
pass.	passed.	passed.
laugh.	laughed.	laughed.

〔注意第一〕 語尾が silent "e" にて終れるものは、ただ "d" のみを附す。

smile.	smiled.	smiled.
love.	loved.	loved.
engage.	engaged.	engaged.
oppose.	opposed.	opposed.

〔注意第二〕 one syllable の語、若くば two syllables 以上より成る語の、accent を有する最後の syllable が、

一個の consonant にて終り、且つ、その前に short vowel あるときは、その consonant を重ね。

beg.	begged.	begged.
stop.	stopped.	stopped.
fit.	fitted.	fitted.
per-mit'	permitted.	permitted.
pre-fer'	preferred.	preferred.
oc-cur'	occurred.	occurred.

246. Irregular verb とは、Root に "ed" を附加する規則によらずして、他の方法によりて、その past tense と past participle とを形成するものをいふ。irregular verb の特徴は、root の vowel の變化することこれなり。

take.	took.	taken.
see.	saw.	seen.
know.	knew.	known.
come.	came.	come.
sit.	sat.	sat.
speak.	spoke.	spoken.
write.	wrote.	written.
bite.	bit.	bit, bitten.
tear.	tore.	torn.
begin.	began.	begun.
spin.	spun.	spun.
find.	found.	found.
meet.	met.	met.

sleep.	slept.	slept.
think.	thought.	thought.
lend.	lent.	lent.
have.	had.	had.
put.	put.	put.

247. Verb を、その principal parts に變化することを、**Conjugation** と云ふ。

第 参 節

PERSON AND NUMBER.

248. Verb の person と number とは、その subject なる noun 又は pronoun の變化と相伴ふものなり。言ひ換ふれば、その subject と、常に person, number を同くす。従つて、その subject が singular number ならば、verb もまた singular number たるべく、その subject が plural ならば、verb もまた plural ならざるべからず。その subject が first person ならば、verb もまた first person たるべく、その subject が second person 若くは third person ならば、verb もまた second person 若くは third person たるべし。故に、verb には person, number によりて、六つの變化あるべき理なれども、“be”を除くその外の verb は、實際の變化として、third person, singular number (present tense) に於て、語尾に“s”を附するのみ。

“to Be.”

Person. \ Number.	Singular.			Plural.		
1st. person.	I	am	was	we	are	were
2nd. person.	you	are	were	you	are	were
3rd. person.	he	is	was	they	are	were

“to Have.”

Person. \ Number.	Singular.			Plural.		
1st. person.	I	have	had	we	have	had
2nd. person.	you	have	had	you	have	had
3rd. person.	he	has	had	they	have	had

“to Write.”

Person. \ Number.	Singular.			Plural.		
1st. person.	I	write	wrote	we	write	wrote
2nd. person.	you	write	wrote	you	write	wrote
3rd. person.	he	writes	wrote	they	write	wrote

第 四 節

VOICE.

249. Transitive verb は、subject が他に働きかける動作、若くは subject が他に働きかけらるゝ動作として、二様にその動作を云ひあらはし得るなり。transitive verb のこれ等の二様の形式を、文法上 **voice** と云ふ。

而して、transitive verb が subject の他に働きかける動作をいひあらはすときは、これを **Active Voice** といひ、subject が他に働きかけらるゝ動作をいひ表はすときは、これを **passive voice** といふ。

250. 故に Transitive verb には、二の voice あり。

(1) **Active voice.** この場合には、verb の subject は作動者なり。

James Watt **invented** the steam-engine.

The boy **killed** the snake with his stick.

He **drew** these pictures.

(2) **Passive voice.** この場合には、verb の subject は被動者なり。

The steam-engine **was invented** by James Watt.

The snake **was killed** by the boy with his stick.

These pictures **were drawn** by him.

251. Transitive verb の passive voice の形式は次の如し。

“to Be + past participle.”

252. Passive voice を構成するに就きて、注意すべき條項は次の如し。

(a) Active voice を passive voice に變ずるときは、active voice の verb の object は、passive voice の verb の subject となる。

(b) Intransitive verb は、passive voice に用ひらるゝことなし。されど、cognate object を有するときは、これを subject として passive voice を構成し得べし。

active : They **fought** a desperate *fight*.

passive : A desperate *fight* **was fought** by them.

(c) Prepositional verb も、passive voice に用ふることを得。

active : People **speak of** him well.

passive : He **is well spoken of** by people.

(d) Passive voice の verb に伴ふ “by” は作動者をあらはし、“with” は器具をあらはし、“of,” “from” は材料をあらはす。

Houses are built **of** *wood* or *brick*.

Sake is made **from** *rice*.

253. Active voice に於て、二個の object を有する transitive verb は、その何れか一つを subject として、passive voice を構成し得べきが故に、二の passive sentence に變ずるを得べし。

active : I **wrote** *him* a *letter*.

passive : A *letter* **was written** *him* by me.

passive : *He* **was written** a *letter* by me.

active : He has done *me* a great *kindness*.

passive: A great *kindness* has been done
me by him.

passive: I have been done a great *kind-*
ness by him.

この場合に於て、若し direct object か indirect object
かの何れか一を subject として、passive voice を構成す
れば、他の object はなほ object として残るべし。これ
を Retained object といふ。

254. Incomplete transitive verb を passive voice に用
ふるときは、active voice に於ての objective complement
は、passive voice に於ては、subjective complement に變
ずべし。

active: The man shot the *tiger* dead.

passive: The *tiger* was shot **dead** by the
man.

active: He left *me* her **guardian**.

passive: I was left her **guardian** by him.

255. ある Transitive verb は、形式は active voice な
れども、そのあらはす意義は、Passive なるものあり。例
へば、

This paper **feels** smooth.

(=is smooth when it is felt.)

Your composition **reads** well.

(=sounds well when it is read.)

The ship **is building**.

(=is being built.)

The book **is printing**.

(=is being printed.)

256. Active voice を passive voice に變すれば、その
形式は相異なれども、そのあらはす意義はなほ相同じ。
されば、

(a) Lightning struck the spire.

(b) The spire was struck by lightning.

の如き二つの文は、畢竟同一の事實を説述するに外なら
ず。たゞ voice を轉換するにあたりては、決してその
tense と mood とを變すべからず。number と person と
は、常に新しき subject と相伴ふものと心得べし。

第五節

MOOD AND TENSE.

257. Verb の Mood と Tense とは、常に相從屬する
ものにして、mood を離れて tense を説明し難く、tense
を離れて mood を説明することも難し。今こゝには、
mood と tense との種類を略叙して、次にそれ等の種類
に就きて、細説することゝすべし。

258. Verb がある事柄を説述するにあたりて、その云ひあらはす方法を指して **Mood** といふ。詳しく云へば、一の事柄を事實として説述するか、假設の想像として説述するか、他人に對しての命令として説述するか、若くは可能なる動作、必要なる動作として説述するかをいひあらはす文法上の形式を verb の mood といふなり。故に、verb が動作をいひ表はす方法には、四種類あり。

(1) The **Indicative Mood**:—事實として説述する云ひあらはしの方法。

As it is not necessary, I do not work harder.

(2) The **Subjective Mood**:—假設として説述するいひあらはしの方法。

If it were necessary, I would work harder.

(3) The **Potential Mood**:—可能若くは必要なる動作として説述する云ひあらはしの方法。

As I am not clever, I must work so hard.
He looks a strong man; he can work harder.

(4) The **Imperative Mood**:—命令として説述する云ひあらはしの方法。

Work harder.

259. 動作の時期、並びにある時期に、動作の完成せしことをあらはす verb の文法上の形式を **Tense** といふ。換言すれば、tense とは、verb の云ひあらはす動作が、過去に屬するか、現在に屬するか、將た未來に屬するかをあらはす verb の變化に外ならざるなり。

動作の時期は、三つあり。過去、現在及び未來これなり。動作の現在の時に行はるゝことをあらはす verb を **Present Tense** の verb といひ、過去の時に行はれたることをあらはす變化を **Past Tense** といひ。未來の時に行はるべきことをあらはす變化を **Future Tense** といふ。この三つの tense は、verb の tense の基礎たるべきものなれば、これを **Primary Tenses** といふ。

Verb の tense の基礎たるべきものは三つなれども、種種の関係によりて、Verb には種々の形態の變化を生ず。

(a) 過去現在未來に於ける動作の状態によりて。verb は、單純に動作の時期のみをあらはす **Imperfect Tense** と、過去現在未來の時期に於て完了したる動作をあらはす **Perfect Tense** との二態を生ず。

(b) 動作の性質によりて。verb は、過去現在未來の時期に於ける刹那の動作をあらはす **Indefinite (or Momentary) Form** と、三の時期に起れる動作にしてなほ連続すべきことをあらはす **Progressive (or Continuous) Form** との二態を生ず。

故に、Verb の Tense といふ文法上の形式は、すべて十二様なり。

Tense	{	A. Imperfect. (primary)	{	a. Indefinite.	1. Present.
					2. Past.
					3. Future.
			{	b. Progressive.	4. Present.
					5. Past.
					6. Future.
Tense	{	B. Perfect.	{	a. Indefinite.	7. Present.
					8. Past.
					9. Future.
			{	b. Progressive.	10. Present.
					11. Past.
					12. Future.

260. Verb の Tense の變化を表示すれば、次の如し。

“to Be.”

	Imperfect.	Perfect.
Present.	I am	I have been
Past.	I was	I had been
Future.	I shall or will be	I shall or will have been

“to Learn” (in the active voice).

		Indefinite.	Progressive.
Imperfect.	Present.	I learn	I am learning.
	Past.	I learned.	I was learning.
	Future.	I shall or will learn.	I shall or will be learning.
Perfect.	Present.	I have learned.	I have been learning.
	Past.	I had learned.	I had been learning.
	Future.	I shall or will have learned.	I shall or will have been learning.

“to Learn” (in the passive voice).

		Indefinite.	Progressive.
Imperfect.	Present.	it is learned.	it is being learned.
	Past.	it was learned.	it was being learned.
	Future.	it shall or will be learned.	—————
Perfect.	Present.	it has been learned.	—————
	Past.	it had been learned.	—————
	Future.	it shall or will have been learned.	—————

261. Indefinite imperfect の present tense と past tense には、この外に、auxiliary “do” と合成する形態あり。この形態は、否定と疑問とに用ひ、若くば verb の語勢を強くするに用ふる形態なり。

Form.	Tense.	Present.	Past.
Ordinary.		I learn.	I learned.
Emphatic.		I do learn.	I did learn.
Negative.		I do not learn.	I did not learn.
Interrogative.		do I learn?	did I learn?
Negative interrogative.		do I not learn?	did I not learn?
Negative Interrogative emphatic.		don't I learn?	didn't I learn?

262. Indefinite imperfect の future tense 及び perfect tense には、これ等に相當すべき形態なし。されど、これ等の tense に於ては、その auxiliary verb を強く發音すれば、その emphatic form となり、auxiliary verb と Principal verb との間に “not” を挿めば、その否定の形態となり、その間に Subject を挿めば、その疑問の形態となる。

263. Tense を構成する方法は、次の如し。

(a) **Present.**—**Root** をそのまま用ふ。ただ third person singular のみは、“s” 又は “es” を附す。

(b) **Past.**—**Past tense** をそのまま用ふ。但し、Interrogative, Negative, Emphatic form は、past, present に限りて、auxiliary “Do” を附す。

(c) **Future.**—“**Shall or will + Root**” を用ふ。

(d) **Present Perfect.**—“**Have + Past participle**” を用ふ。ただ

Third person Singular のみには、“**Has + past participle**” を用ふ。

(e) **Past perfect.**—“**Had + past participle**” を用ふ。

(f) **Future perfect.**—“**Shall or will have + past participle**” を用ふ。

(g) **Progressive Tenses.**—“**Six tenses of Be + present participle**” を用ひて作る。

第六節

THE INDICATIVE MOOD AND ITS TENSES.

264. Indicative mood は、事實として事柄を説述するに用ふる verb の文法上の形式なり。indicative mood の tense は、正しく十二様の形式に變化す。

265. **Indefinite Present.** この tense は Present と名づくれども、現在の時に起れる動作を説述すること稀にして、通常、時に關係なく、動作を説述するに用ふ。例へば、“**I teach**” は “*I have taught and I shall teach*” の意義をあらはすが如し。この tense の主なる用方は次の如し。

(a) 過去現在未來の時に亘りて、變せざる事柄を説述するに用ふ。

The sun **rises** in the east.

Still waters **run** deep.

The moon **shines** at night.

(b) 平素の習慣、毎日の業務、若くは性質等を説述するに用ふ。

He **gets up** at six every morning.

He **keeps** his word.

I **read** the Jiji-shimpo.

She **speaks** French well.

He **goes** to Tokyo twice a month.

I **teach** in the school.

266. 現に今起りてある動作を説述するには、progressive present を用ひざるべからず。例へば、

He **teaches** in this school; but he **is not teaching** at this moment.

の如し。されど、物語る人が、自己の現在の動作を説述

し、若くば眼前の動作をうつし出つるには、Indefinite Present を代用すること多し。

There **comes** your brother.

The wind is rising; look how the smoke **blows** sideways!

Now observe; I **take up** this coin and **drop** it in this tumbler.

See, smell, feel, know, love, want, have, be 等の progressive form を有せざる verb は、常に indefinite form を代用す。

I **feel** hungry.

I **want** a glass of water.

I **know** him well.

267. Indefinite present は、“if,” “before,” “till,” “after,” “when,” “while” 等の Conjunction にて始まる adverbial clause に於ては、future tense に代用す。

If it **does not rain** soon, the crop will fail.

You must finish it *before* he **comes**.

What shall I say to him *when* he **comes**?

Don't fold up the clothes *till* they **are** quite dry.

I will learn to skate *while* I **am** in the north.

268. “come,” “go” の意味をあらはす verb は、確定

せる未来の動作をいひ表はすときには、indefinite present を以て future tense に代用すること多し。

When *do* you **leave**?

I **am off** by the morning train.

He **starts** for Kyoto to-morrow.

His father **returns** from America next week.

この場合には、Progressive Present を代用すること更に多し。

Who **is coming** here to-night?

I **am starting** early to-morrow morning.

269. Indefinite present は、また過去の出来事を、今までのあたり、目撃するが如くに説述するに用ふることあり。これを **Historical Present** といふ。

Baber **now leads** (=then led) his men through the Kyber Pass, and **enters** (=entered) the Plains in India.

270. “Be + infinitive” の形は、他人の決意によりて確定したる未来の動作を云ひあらはすに用ふることあり。

My father is going to Nikko by the evening train, and I **am to go** with him.

They **are to have** a holiday to-morrow.

When **is** the examination **to take place**?

271. **Progressive Present**. 現に今起りてある動作

にして、未来のある時期まで、連続すべきことを説述するに用ふ。

He **is getting** up now.

Where **are you going**?

He **is writing** a letter at present.

272. "are going + infinitive" は、直に起るべき未来の動作を云ひあらはすに用ふ。

What **are you going to do** now?

I **am going to write** my exercise.

I **am going to call** on my friend.

273. Indefinite Past. 現在と関係なく、單に過去の動作として、事を説述するに用ふ。されば、この tense は、通常過去をあらはす他の語を伴ふこと多し。

He **bought** a book at Maruya's *yesterday*.

I **expected** you *last night*.

He **came** to see me the *other day*.

I **learned** English *when I was very young*.

Vasco da Gama **was** the first man from Europe who **rounded** the Cape of Good Hope.

動作の相續きて起りしことをあらはすには、その動作の前後の順序に従ひて、past tense の verb を列ぬ。

I *came, saw and conquered*.

He *drew* his sword, and *led* his men over the cliff into the town.

274. Progressive Past. 過去の限られたる時に起りてありし動作の、その後もなほある時期まで、繼續せしことを云ひあらはすに用ふ。而して、その過去の限られたる時は、adverb 若くば他の verb によりて指示せらる。

He **was studying** so diligently *while the other boys were playing*.

I **was writing** my exercise *at that time*.

He **was working** hard *when you came*.

275. Indefinite Future. 單に未来になさんとする動作を説述し、若くは未来になさんとする動作に係る決意を云ひあらはすに用ふ。而して、これ等の相異なる意趣は、auxiliary verb "shall," "will" の three persons の subject と連續する形態の異同によりて表示す。

(a) 單に未来になさんとする動作を説述するには、"I shall," "you will," "he will" を用ふ。

(b) 未来になさんとする動作が、subject の決意より出づることを説述するには、"I will," "you will," "he will" を用ふ。

(c) 未来になさんとする動作が、物語る人の決意より出づることを云ひあらはすには、"I shall," "you shall," "he shall" を用ふ。

276. "I shall," "you will," "he will." 正しき未来の動作を説述する形態にして、未来になさんとする

動作は、自己の決意により出づるものにあらずして、自然の成行上より定まれることをあらはす。

I fear I **shall fail**, but I hope you **will pass**.

We **shall learn** the truth in a few days.
If you overwork yourself, you **will make** yourself sick.

He **will not be able** to find the house, if he does not know the exact address.

I think it **will rain**.

277. “I will,” “You will,” “He will.” 未来になさんとする動作は、subject の決意によりて定まれることをあらはす形態なり。

If you want a dictionary, I **will lend** you mine.

I **will have** your answer, yes or no.

He says he **will do his** best.

I request you **will look** to the matter at once.

His brother says he **will never go** there again.

278. “I will,” “You shall,” “He shall.” 未来になさんとする動作が、Subject の意志決定より出づるものにあらずして、物語る人の決意によりて定まれることを云ひあらはすに用ふる形態なり。故に、“I will” に

て云ひ表はすべき動作が、若し second person 若くは third person に関係するときは、これを “You shall,” “he shall” の形式を以て言ひ換へ得べきなり。

“I will” に於ては、物語る人、即ち、subject の決意により定まる動作となる。“you shall,” “he shall” に於ては、その動作は、物語る人の意志決定より出づることをあらはすが故に、約束若くは脅迫の意味を帯ぶ。

(a) 約束をあらはすもの。

If you want the book, you **shall have** it.

(=I will give it to you.)

He **shall know** everything.

(=I will tell him everything.)

You **shall have** a definite answer to-morrow.

They **shall see** how easily it can be done.

(b) 脅迫をあらはすもの。

You **shall not set** foot in my house again.

(=I will not allow you to come to my house.)

It **shall be done** at any cost.

(=I will cause it to be done.)

He **shall receive** the punishment which he deserves.

They **shall not pluck** the flowers.

279. 疑問の文に於ては、決して “Will I?” を用ふ

べからず。自己の決意を他人が問ふが如きことは、有り得べからざればなり。

疑問の文に於ては、“**Shall you?**” は、普通の未來の形態に用ひ、“**Will you?**” は、物語りかけられたる人の意志を問ふ形態に用ふ。即ち、疑問の文に於ける“**shall,**” “**will**” の用方は、second person に於ては、first person の用方と同一なり。

Shall you go to school to-morrow?

Yes, **I shall.**

Will you go to Yokohama with me?

Yes, **I will.**

280. **Shall, will** の past tense の形態に、“**Should,**” “**would**” あり。通常これを“**Future-to-the-Past**” tense と云ふ。過去の時より見たる未來の動作をいひ表はすに用ふ。而して、この二の語の用方の相異は、すべて、**shall** と **will** との用方に準じて會得すべし。

(a) 普通の未來。

I hoped that I should succeed.

(=I hoped, “I shall succeed.”)

It was settled that we should meet next morning at the same place.

I hoped that you would succeed.

I knew how it would turn out.

(b) Subject の決意。

I promised that I would do my best.

(=I promised, “I will do my best.”)

He said he would never go there again.

I believed that you would write to your father if you did not amend your conduct.

(c) 語る人の決意。

I promised that I would do my best.

(=I said, “I will do my best.”)

I promised that you (or he) should have my assistance.

(=I promised; “You (or he) shall have my assistance.”)

He said you should have a definite answer in a few days.

(=he said, “you shall have.....”)

281. “**Will**” は、現在の習慣となれる動作を、云ひあらはすに用ふることあり。

The conservatives will condemn of anything foreign. (=are in the habit of condemning of.....)

Whenever he meets anyone, he will complain of his poverty.

嘗て習慣たりし動作をあらはすには、future-to-the-past tense の “**would**” を用ふ。

Whenever he met any one, he **would complain** of his poverty.

(=he used to complain of.....)

Even while attending a primary school, he **would often be seen** poring over his book by himself.

At a certain intervals, my ambition **would revive**.

282. **Progressive Future.** 未來の限られたる時期に起りてあるべき動作にして、なほその後も、ある時期まで繼續すべきことを説述するに用ふ。

I **shall be waiting** at the station to-morrow morning.

He **will be studying** if you go at nine.

283. **Indefinite Present Perfect.** 現在の時に於ける動作の完了、若くは過去の経験を云ひあらはすに用ふ。言を換へて云へば、この tense は現在の事情を知らんがために、過去の動作を述ぶる形態なり。

(a) 動作の完了。

I **have just received** a letter from him.

The bell **has rung** already, but school **has not begun** yet.

The lamp **has been lighted**.

He **has given** his old one to his brother.

(b) 過去の経験。

Have you ever read this book?

I **have read** it very often.

I **have seen** a tiger several times.

I **have seldom heard** him speak English.

[注意] Indicative present perfect は、過去の動作を述べつゝ、その動作の現在に残したる結果、即ち、現在の事情をあらはす tense なり。故に、この tense と、單に過去の時に起りたる動作を述ぶるのみにして、現在の状態に就きて何物をも語らざる indefinite past tense とは、正しく區別せられざるべからず。次の二の文を比較して、その相違を會得すべし。

(a) I **have written** my exercise already.

(=*my exercise is written—it is ready.*)

(b) I **wrote** my exercise yesterday.

(=*the action of writing my exercise took place yesterday.*)

284. Indefinite present perfect は、現在の事情を知らんがために、過去の動作を述ぶる tense ならば、そのいひ表はす意義は、常に現在の時に關係す。故に、過去の定まりたる時をあらはす adverb あるときは、この tense を用ふるを得ず。

{ incorrect: I **have seen** him yesterday.
 { correct: I **saw** him yesterday.

{ incorrect: He *has arrived* last night.
 { correct: He **arrived** last night.

又、“*When*”? と共にこの tense を用ふる能はざるも、同じ理による。

{ incorrect: **When** *have* you *bought* it?
 { correct: When **did** you **buy** it?
 { incorrect: *When* *have* you *begun* English?
 { correct: When **did** you **begin** English?

285. 時をあらはす adverb にても、完了若くは経験の意味を帯ぶるものは、indefinite present perfect と共に、これを用ふることを得。

(1) 完了をあらはす時の adverb:

Already, yet, just, now 等、(但し just now は past tense とのみこれを用ふ)。

(2) 経験をあらはす時の adverb:

Before, ever, never, once, twice, often, seldom, several times 等。

また、*lately, to-day, this morning, this winter, this year* の如き、現在の時をも含む adverb は、この tense と共に用ふるを得べし。

There **has been** little snow *this winter*.
 He **has not brought** his exercise *to-day*.
 There **has been** a fire *to-night*.

286. Indefinite present perfect には、二の意趣あるこ

とは前に述ぶるが如し。“*I have seen a tiger,*” “*I have read Robinson Crusoe*” の如き文に於ては、verb のあらはす意義は、動作の完了にても、將た過去の経験にても、所詮は “*I know what is a tiger like,*” “*I know the whole story of Robinson Crusoe.*” といふ意味に歸するが故に、普通の場合には、殊更にこの二の意趣を判別する必要を見ざるが如し。されど、“*go,*” “*come,*” “*be*” の present perfect tense は、この兩意の間に相違あれば、注意せざるべからず。

完 了

He *has gone* to Tokyo.
 I *have come* to see you.
Have you been to Mukojima to see the cherry-blossoms?
 I *have been* to see him off at the station.

經 験

He *has been* in Tokyo once.
 I *have been* here before.
Have you ever been in Mukojima?
 I *have been* in Nikko two or three times.

〔注意第一〕 “*Have gone*” は、first person 又は third person の subject と共に用ふるを得ず。常に third person とのみ、

He **has gone** to Kyoto. (=he is in Kyoto now.)

これを用ふ。若し、これを他の person と用ふれば、不合理の文となるべし。

{ incorrect: **Have you gone** to Tokyo?
 (=are you not here now?)
 corrected: **Have you been** in Tokyo?
 { incorrect: **I have gone** to Tokyo.
 (=I am not here now.)
 corrected: **I have been** in Tokyo.

[注意第二] “Have gone,” “Have come” は、完了の動作をのみあらはす verb ならば、経験をあらはす時の adverb と共に用ふるを得ず。

{ incorrect: **Have you ever gone** to Nikko?
 corrected: **Have you ever been** in Nikko?
 { incorrect: **I have never gone** abroad.
 corrected: **I have never been** abroad.
 { incorrect: **Have you ever come** here before?
 corrected: **Have you ever been** here before?

{ incorrect: **I have come** here *once or twice before*.
 corrected: **I have been** here *once or twice before*.

287. Indefinite present perfect は “when,” “if,” “while,” “before” 等の conjunction にて始まる adverbial clause に於ては、future perfect tense に代用せらる。

If you have finished your lesson, you may go home.

I shall go out *when I have written* all my exercises.

I will attend to this business *as soon as I have finished* the other.

288. Progressive Present Perfect. 現在の時まで、繼續せる動作を云ひあらはすに用ふ。

I have been studying English for two years.

He **has been waiting** about half an hour.

I have been looking for you.

289. Progressive present perfect は、その動作はよし未だ完了せずとも、現在の時まで、動作の繼續せしことを云ひあらはす形式にして、動作の表示がこの tense の主眼とする所にして、動作が如何なる結果を現在に生ぜかしは、その關する所にあらざるなり。之に反して、In-

definite present perfect は、そのあらはす意趣は、完了にても経験にても、その主眼とするところは動作の表示にあらずして、過去の動作より生じたる現在の事情を説述するにあり。次の例を比較して、その相違を了解すべし。

- { I **have been studying** English for five years.
- { I **have studied** English for five years.
(=I understand English.)
- { I **have been solving** the problem.
- { I **have solved** the problem.

290. Progressive Form を有せざる verb は、indefinite form を以て、progressive form に代用す。

- He **has been sick** since last Monday.
- I **have lived** in Tokyo for ten years.
- I **have not seen** you for a long while.
- I **have known** him from a child.

"For the past three years" の如き phrase と共に、indefinite present perfect を用ふれば、progressive present perfect と同一なる意味を云ひあらはし得べし。

- I **have studied** English for the past three years.
- It **has rained** for the last five days.
- During the last thirty years, Japan **has made** constant progress.

291. Indefinite Past Perfect. 過去の定まれる時まで完了したる動作をいひ表はすに用ふ。その用方二つあり。

(1) 過去の定まれる時より以前に起りたる動作を述べて、その時に於ける事情をあらはすに用ふ。而して、過去の定まれる時は、通常他の verb を以て、これを指示す。

When I *got* to the station, the train **had** already **started**.

I **had learned** English *while in the country*.

Up to that time, we **had been** quite ignorant of his personality.

I *knew* him well; for I **had** often **seen** him before.

(2) 一の動作が、他の past tense にて云ひあらはされたる動作より以前に、起りたることをあらはすに用ふ。

- { I lost my book, but found it next day.
- { I *found* my book which I **had lost** the day before.

- { The boy broke the watch and concealed it.

- { The boy *concealed* the watch which he **had broken**.

{ He borrowed a book and read it.
 { He *read* a book which he **had borrowed**.

292. **Progressive Past Perfect.** 過去の限られたる時まで、継続したる動作を云ひあらはすに用ふ。

Up to that time, he had been studying English for three years; but he could not speak it well.

I had been waiting about an hour when you *came*.

They **had been playing** noisily for two hours when their mother *came*.

293. **Indefinite Future Perfect.** 未来の定まれる時までに、完了すべき動作をいひ表はすに用ふ。

I shall have written my exercise *before school begins*.

He will have left Tokyo *when you return*.

294. **Progressive Future Perfect.** 未来の定まれる時まで、継続すべき動作をいひ表はすに用ふ。

I have been studying English for over three years. **I shall have been studying** it for four years *by April next*.

It will have been raining a whole month *the day after to-morrow*.

第七節

THE SUBJUNCTIVE MOOD AND ITS TENSES.

295. (a) As I **had noted** it down, I **did not forget** all.

(b) If I **had not noted** it down, I **should have forgot** all.

例題 (a) に於ては、verb は事實として動作状態を説述すれども、(b) に於ては、假設の想像として動作状態を説述せり。verb が事實として事柄を説述するいひあらはしを Indicative mood と云へりき。想像として事柄を説述する云ひあらはしを **Subjunctive Mood** といふ。

296. 假設の想像として、事實ならざる事柄を云ひあらはす Sentence は、これを二つの clause に分ち得べし。

(1) **前項.** 假設の条件をいひあらはす clause をいふ。通常、Conjunction によりて、principal clause に係属す。

(2) **後項.** 假設の条件に伴ふ結果を表示する clause にして、前項の係属する Principal clause なり。

上に挙げたる例題 (b) に就きて云へば、“*If I had not noted it down.*” はその前項にして、“*I should have forgot all.*” はその後項なり。

297. Subjunctive mood の verb の形態は、二様なり。その一を *Subjunctive Form* と云ひ、その一を *Conditional Form* と云ふ。

(a) **Subjunctive Form.** 前項に於て、事實ならざること若くは不確實なることを、假りに設けて云ふに用ふる形態なり。

(b) **Conditional Form.** 假設の條件を前項とする後項に於て、事實ならざることを想像して云ふに用ふる形態なり。

これを例示すれば、次の如し。

Subjunctive Form.

If he **be found** guilty, (he will be punished.)

If aluminium **were** as cheap as iron,...(a)

If I **had not written** it down,.....(b)

Conditional Form.

(a) It **would be used** for building ships.

(b) I **should have forgot** all.

THE SUBJUNCTIVE FORM.

298. Subjunctive Form の Tense はすべて四つ、次の表の如し。

"to Be."

Tense.	Number.	Singular.	Plural.
Present.		If I (you or he) be.	If we (you or they) be.
Past.		If I (you or he) were.	If we (you or they) were.
Past perfect.		If I (you or he) had been.	If we (you or they) had been.
Future.		If I (you or he) should be.	If we (you or they) should be.

"to Learn" (in the active voice.)

Tense.	Number.	Singular.	Plural.
Present.		If I (you or he) learn.	If we (you or they) learn.
Past.		If I (you or he) learned.	If we (you or they) learned.
Past perfect.		If I (you or he) had learned.	If we (you or they) had learned.
Future.		If I (you or he) should learn.	If we (you or they) should learn.

"to Learn" (in the passive voice.)

Tense.	Number.	Singular.	Plural.
Present.		If it be learned.	If they be learned.
Past.		If it were learned.	If they were learned.
Past perfect.		If it had been learned.	If they had been learned.
Future.		If it should be learned.	If they should be learned.

〔注意第一〕 形態の上に就きて注意すべきは、Subjunctive form の verb は、Person, Number によりて、文法上の變化をなさざることこれなり。

〔注意第二〕 Subjunctive form の Progressive Form は、“to Be” を auxiliary として、そのすべての形態に、present participle を附加して構成す。

〔注意第三〕 Subjunctive Form の verb を引き出づる conjunctive は、“If” のみにあらず。Subjunctive は、通常 “if” の外に、“unless,” “provided,” “though,” “whether,” “whoever” 等にて始まる clause の中にこれを用ふ。

299. Subjunctive Present. 疑はしきこと、若くは不確實なることを、假に定めて云ふに用ふる形態にして、通常未來の意趣を帶ぶ。

If it **be** so=*it is doubtful whether it is or not.*

されど、今日の英語にては、indicative mood の Present tense 若くは “May + Root” を以てこれに代用すること多し。

If it **rain** (*rains*), we shall not able to go.
Unless he **study** (*studies*) hard, he can not hope to succeed.

Provided he **acknowledge** (*acknowledges*) his fault, I will not pardon him.

Though he **slay** (*may slay*) me, yet I will trust in him.

Whoever he **be** (*may be*), he cannot be a good man.

300. Subjunctive Present は、希望の文に用ひられて、願望として事柄を述説することあり。

God **bless** you!
Long **live** the Emperor!
Heaven **help** him!

301. Subjunctive Past. 現在の事實に反對なる想像を、假定して云ふに用ふ。されば、その形態は、past tense なれども、その説述する所の意義は、常に現在の時に關係するものとす。日本語にて、現實の出來事にて夢にもあらぬを、「若しこれが夢であつたなら」と云ふと相應せる構造なり。

If it **were** true=*but it is not true.*

If I **had** the book (*but I have not it*), I would lend it to you.

If Japan **were** not an island-country (*but she is an island-country*), she would not need such a powerful navy.

All would go well, if it **were** not for losses and want of work.

If I **knew** it, I would tell you.

302. Subjunctive past が、“as if” の次に來ることあり。この場合には、その principal clause が省略せられたるものなり。

The child talks **as** (*it would talk*) if it **were** a man.

He looks **as** (*he would look*) if he were sick.

He is always speaking about honesty **as if** he **were** the only honest man in the world.

303. Subjunctive past を、“**I wish**”の次に用ふることあり。この場合には、成就し難きことを願望する意義をあらはす。

I wish I **were** a bird.

I wish I **were** at home.

She says *she wishes* she **were** dead.

I wish he **were** here.

304. Subjunctive Past Perfect. 過去の事實に反対なる想像を假定し云ふに用ふる形態なり。故にその形態は past perfect なれども、その説述する所の意義は常に過去に關係するものとす。

If I **had been** clever=*I was not clever*.

If I **had not written** it down (*but I wrote it down*), I should have forgot it.

If Columbus **had not discovered** America, somebody else would have discovered it.

If you **had been paying** attention, you would have understood it.

It would have done him much good, **had**

he **had** spare time to go out into the country.

〔注意第一〕 Subjunctive past perfect も、“as if”の次に來ることあり。この場合にも、principal clause の省略せられたるものなり。

He treats them **as if** he **had never known** them.

〔注意第二〕 Subjunctive past perfect を、“**I wish**”の次に用ふれば、過去に於ける到達すること能はざる願望をあらはす。

I am sorry I did not know his motive ;

I wish I **had known** it.

I wish I **had not left** school then.

I wish I **had seen** it.

305. Subjunctive Past と Subjunctive Past Perfect とは、共に事實ならざる事柄を假設して云ふに用ふる形態なれども、その表示する所の意義、一は現在に關係し、一は過去に關係すること、前述するが如し。この二の形態を誤り用ひざらんやう注意するを要す。

306. Subjunctive Future. 未來に關しての疑はしき事柄を説述するに用ふる形態なり。されば Subjunctive Present とその用方相同じといへども、この tense を用ふれば、疑惑の意義、彼よりも強く、有得べからざる意を含む。この tense は通常、總べての person, number を通じて、auxiliary “should” を用ふ。

I think I shall succeed. But if by any chance I **should fail**, I would try again next year.

If he **should fail**, he will give up the idea. If he **should call** while I am out, tell him to wait.

If you **should happen** to see him, tell him to expect me this evening about eight.

307. Subjunctive future の auxiliary として、“**would**” を用ふることあり。この形態は、Subject の意志を假定するに用ふる形態なり。

If I **would try**=*but I will not try*.

If you **would do** so, I should be much obliged.

THE CONDITIONAL FORM.

308. Conditional Form の tense は、すべて二つ。

(1) **Conditional Present.** その形態は、“**should or would + Root**” にして、indicative mood の future-to-the past とその形を同じくす。

(2) **Conditional Perfect.** その形態は、“**should have or would have + past participle**” なり。これを表記すれば、次の如し。

“to Be.” (*the intransitive verb.*)

Number. \ Tense.	Conditional present.	Conditional perfect.
Singular.	I should be (if)	I should have been (if)
	You would be (if)	You would have been (if)
	He would be (if)	He would have been (if)
Plural.	We should be (if)	We should have been (if)
	You would be (if)	You would have been (if)
	They would be (if)	They would have been (if)

“to Do.” (*the transitive verb.*)

Number. \ Tense.	Conditional present.	Conditional perfect.
Singular.	I should do (if)	I should have done (if)
	You would do (if)	You would have done (if)
	He would do (if)	He would have done (if)
Plural.	We should do (if)	We should have done (if)
	You would do (if)	You would have done (if)
	They would do (if)	They would have done (if)

[注意] Conditional form の Progressive は、“to Be” のすべての變化に、present participle を附加して構成し、passive voice は、これに past participle を附加して構成し得べし。

309. **Conditional Present.** 前項のあらはす意義に應じて、想像をあらはすことあり。條件に伴ふ未來の動作をあらはすことあり。

(a) Subjunctive past を前項とする後項に於ては、現在又は未來に關して、事を想像して云ふに用ふ。

I **should be** (if) = *I am not.*

I **would do** (if) = *I will not do.*

If Japan *were* not an island-country, she **would not need** such a powerful navy.

If you **did not drink** so much, you **would be** stronger.

If I *knew* his address, I **would write** to him.

If we *missed* the train, we **should have** to wait an hour at the station.

If I **had** the book, I **would lend** it to you.

(b) Subjunctive future を前項とする後項に於ては、その條件に伴ひて、未來になさんとする動作をあらはすに用ふ。

I **should be so** (if) = *I shall be so in that condition.*

I **would do so** (if) = *I will do so on that condition.*

If he *should fail*, he **would give up** the idea.

If I *should meet* him, I **would tell** him so.

If you *would do so*, I **should be** much obliged.

If you *would not amend* your conduct, you **would have** to leave school.

310. Conditional perfect. Subjunctive past perfect を前項とする後項に於て、過去の事實に反對なる想像をいひ表はすに用ふる形態にして、その動作を實行せざりし意を含む。

I **should have been so** = *I was not so.*

I **would have done so** = *I did not do so.*

If we *had started* in proper time, we **should have been** there by this time.

If Columbus *had not discovered* America, somebody else **would have discovered** it.

If you *had been paying* attention, you **would have understood** it.

Wellington **would have been** defeated, *had it not been* for the failure of one of Napoleon's marshals to appear on the field.

If I *had missed* the train, it **would have been** rather awkward.

311. Conditional form の verb は、獨立して、種々の意味をあらはすことあり。

(1) 希望、請願、疑問等を云ひあらはす、丁寧なる形

態として用ふ。この場合には、“*if it were possible,*” “*if you allowed me*” 等の前項の省略せられたるものなり。

I **should like** a glass of water.

He says he **should like** to go for a walk.

I **should think** so.

Wouldn't you rather **have** a cup of tea?

Would you kindly **lend** me the book for a few days?

(2) 深き驚愕、遺憾等の意をあらはすに用ふ。この場合には、“*It is strange,*” “*I regret,*” “*I am surprised*” 等の clause の次に、常に “**should**” を用ひ。而して、現在の事柄に關するときは、present を用ひ、過去の事柄に關するときは、perfect を用ふ。

It seems odd that we **should meet** here.

It is strange that they **should have** met in the very same place.

I am sorry that any difference **should arise** between your father and you.

I regret that you **should have failed**.

(3) 一般の條理を云ひ表はすに用ふ。この意味には、常に獨立したる “**should**” を用ふ。

You **should** never **keep** any secret from your father.

We **should** love our country.

One **should** not **promise** what one can not perform.

轉じては、“*It is right,*” “*It is natural,*” “*It is good,*” “*It is necessary*” 等の次に用ひて、「當然」「適當」等の意味をあらはす。この場合には、現在の事柄に關しては present を用ひ、過去の事柄に關しては perfect を用ふ。

It is proper that you **should pay** for it.

It is quite natural that he **should think** so.

It is but just that they **should have treated** you so.

It is right that you **should have done** so.

第八節

THE POTENTIAL MOOD AND ITS TENSES.

(a) You **may take** whichever course you prefer.

(b) I think that it **can be interpreted** in several ways.

(c) I **must have** an answer at once.

例題 (a) なる may take は、許可すべき事柄として動作を述べ、(b) なる can be interpreted は、可能なる事柄として動作を述べ、(c) なる must have は、必要なる事柄として動作を述べ。これ等の may, can, must を

Modal Auxiliary と云ひ、verb のかくの如き形態を Potential mood といふ。

〔注意〕 Potential Mood は、Mood の一種として存立すべき性質のものにあらずと云ふ説多し。今は便宜に従つて、しばらくこれを存したり。

312. Potential mood の tense は、その變化すべて四つ、その形態は次の如し。

- (1) **Present Tense.**—“**Can, may or must + Root.**”
- (2) **Past Tense.**—“**Could or might + Root.**”
- (3) **Present Perfect Tense.**—“**Can have, may have or must have + Past Participle.**”
- (4) **Past Perfect Tense.**—“**Could have, might have or must have + Past Participle.**”

〔注意〕 Potential mood の verb は、person, number によりて形態の變化なし。

	<i>to Be.</i>	<i>to Do.</i>
Potential Present.	I may (can or must) be.	I may (can or must) do.
Potential Past.	I might (or could) be.	I may (or could) do.
Potential present perfect.	I may (can not or must) have been.	I may (can not or must) have done.
Potential past perfect.	I might (could or must) have been.	I might (could or must) have done.

313. Potential Present. “May,” “Can,” “Must” は、二つの意義にこれを用ふ。

(1) may は、ある動作をなすの許可をあらはすに用ひ、can はある動作をなすの能力をあらはし、must はある動作をなすの必要をあらはすに用ふ。これ本來の意義なり。

その模範的形式は、次の如し。

Can.	Can you do so? I can do so. (能力) I can not do so. (無能力)
May.	May I do so? You may do so. (許可) You may not do so. (不許可) You must not do so. (禁止)
Must.	Must I do so? You must do so. (必要) You need not do so. (不必要)

これを例示すれば、次の如し。

Can these students **write** a letter in English?

They **can write** a short English letter.

I **can not come** to your house, because my mother is sick.

May I leave the room?

You **may go out**, but you **must not stay out too long**.